Nikon

ニコンデジタルカメラ

COOLPIX3100

クールピクス3100

使用説明書

COOLPIX3100 (Jp)

商標説明

- CompactFlash™（コンパクトフラッシュ）は米国 SanDisk 社の商標です。
- Microsoft® および Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、Power Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、QuickTime は米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe および Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止

すぐに
修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

電池、電源を抜いて、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターに修理を依頼してください。

⚠ 警告（カメラについて）

電池を取る

すぐに
修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。

電池を抜いて、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターに修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

見ないこと

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。

発光禁止

車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと

事故の原因となります。

発光禁止

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。

特に乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

指定の電池または専用 AC アダプタを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

使用禁止

AC アダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

保管注意

製品は幼児の手の届かないところに置くこと

ケガの原因になることがあります。

保管注意

使用しないときは、電源を OFF にするか、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。

禁止

長期間使用しないときは電源（電池や AC アダプタ）を外すこと

電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

プラグを抜く

AC アダプタで使用されている場合には、AC アダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

使用注意

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。病院で使う際も、病院の指示に従ってください。

禁止

本機器や AC アダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠ 警告（リチウム電池について）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告・注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

電池の「＋」と「－」の向きをまちがえないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

禁止

充電式電池以外は充電しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

⚠ 警告（ニッケルマンガン電池・ニッケル乾電池について）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告・注意を守ること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと
幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

電池の「＋」と「－」の向きをまちがえないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。

禁止

充電式電池以外は充電しないこと
液もれ、発熱の原因となります。

警告

使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

⚠ 危険（ニッケル水素電池について）

使用禁止

Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH1 は、ニコンデジタルカメラ COOLPIX3100、2100 専用の充電式電池です
この機器以外には使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用のチャージャーを使用して 2 本セットで同時に充電すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

電池の「+」と「−」の向きをまちがえないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（ニッケル水素電池について）

警告

外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと
また、外装チューブがはがれたり、キズがついている電池は絶対に使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。

使用禁止

変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと
幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること
液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池からもれた液が皮膚・衣服へついたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはテープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターやリサイクル協力店へご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 注意（ニッケル水素電池について）

注意

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

お使いになる前に

このたびは、ニコンデジタルカメラ COOLPIX3100 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この使用説明書はデジタルカメラ COOLPIX3100 で撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

本文中のイラスト・マークについて

- カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
- カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。
- カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
- 関連情報を記載した参照ページを記載しています。

コンパクトフラッシュカードの表記について

本書では、コンパクトフラッシュカードを CF カードと表記しています。

「初期設定」ついて

本書では、カメラご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。

ご確認ください

●保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入 1 年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

- カスタマ登録は下記のホームページからも登録できます。

http://reg.nikon-image.com

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、堅くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターにて新しい使用説明書をお求めください（有料）。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、AC アダプタなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでご使用ください。

- 他社製品との組み合せ使用により、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

各部の名称

モードダイヤル
（16）

電源スイッチ
（22）

セルフタイマーランプ
（36）

電源ランプ
（23）

スピードライト
（34）

シャッターボタン
（17、30）

ファインダー

ストラップ取り付け部

CF カードカバー
（20）

レンズ（93、102）

ストラップの取り付け方

ズームボタン（/）
（28）

ファインダー
（29）

マルチセレクター（//）
（17）

スピードライトランプ
（赤色）（30）

（再生 / 転送）ボタン
（32、48，55）

電池室カバー
（18）

AF ランプ（緑色）
（30）

液晶モニタ
（14）

端子カバー

電池室カバー
ロック解除ボタン
（18）

（削除）ボタン
（32、48）

三脚ネジ穴
（36）

（モニタ）ボタン
（15）

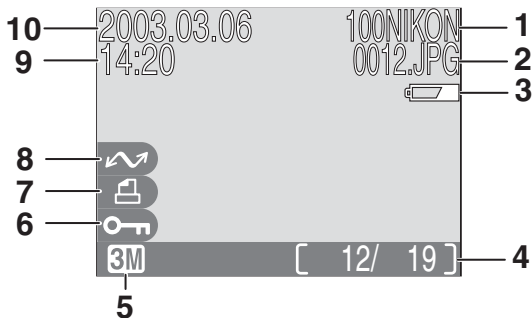
MENU（メニュー）ボタン
（66、78）

液晶モニタについて

撮影時

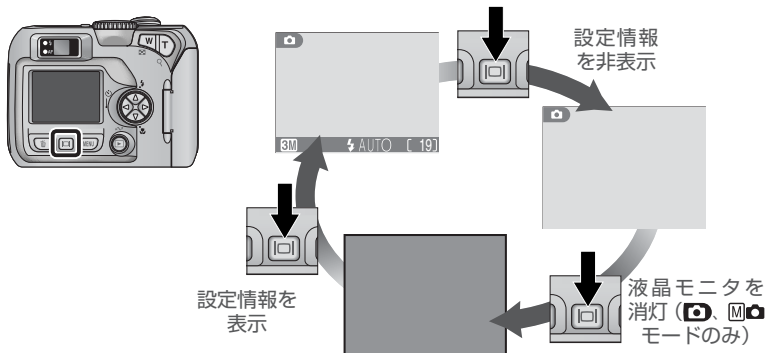
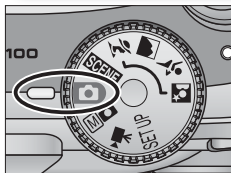
1	ズーム表示[1] 28
2	AF 表示[2] 31
3	画像記録中表示.................................31
4	時計マーク[3] 25
5	手ブレ警告[4] .... 35、96
6	バッテリーチェック[5] 22
7	セルフタイマー / カウントダウン表示 36
8	デート写し込み.................................73
9	撮影可能コマ数 / 動画時間表示 .... 26、61
10	スピードライトモード........... 26、34
11	画像モード.............................. 26、69
12	露出補正マーク / 露出補正値 72
13	感度表示[6] 35
14	連写モード...74
15	BSS...75
16	ホワイトバランス.............................71
17	マクロモード.....................................37
18	輪郭強調...76
19	撮影モード / シーンモード....... 26、44

[1] ズーム操作時に表示
[2] 半押し時に表示
[3] 日時が設定されていない時に点滅
[4] シャッタースピードが遅い時に表示
[5] バッテリー残量が少なくなった時に表示
[6] カメラが自動的に感度を上げている時に表示

再生時

1	フォルダ名......33	6	プロテクト表示......84
2	ファイル名......33	7	プリント表示......59
3	バッテリーチェック *......22	8	転送マーク......85
4	表示画像コマ番号 / 総画像コマ数	9	撮影時刻......24
5	画像モード......26、69	10	撮影日付......24

* バッテリー残量が少なくなった時に表示

液晶モニタの表示について

[表示] ボタンを押すごとに、撮影および再生時の設定情報の表示・非表示を切り換えることができます。[カメラ]、[M カメラ] モードでは、液晶モニタの点灯・消灯も切り換えることができます。

モードダイヤルについて

モードを切り換えるときは、使用するモードのアイコン（絵文字）を左側の ⊂⊃ マークに合わせます。

オート撮影モード

(26)

カメラまかせで気軽に簡単に撮影できます。デジタルカメラを初めてお使いになる方におすすめのモードです。

M マニュアル撮影モード

(27、66)

8 種類の撮影メニューから自由に設定して撮影意図に合った撮影が可能です。

SCENE シーンモード

(44 ～ 47)

パーティーや夜景など 10 種類のシーンに応じた最適な設定で撮影できます。

動画モード

(61 ～ 62)

最長 40 秒までの動画（音声なし）を撮影できます。

SET UP

SCENE

SET UP セットアップモード

(87)

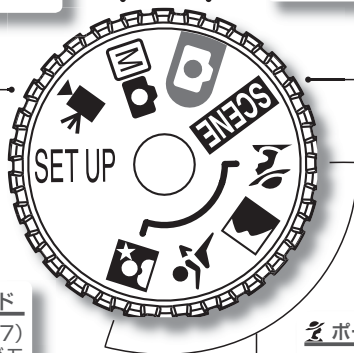
セットアップメニューがモニタに表示されます。日時設定や画面の明るさなどを設定します。

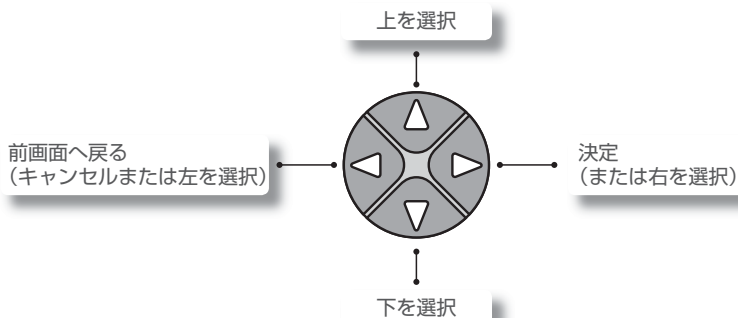
ポートレートモード

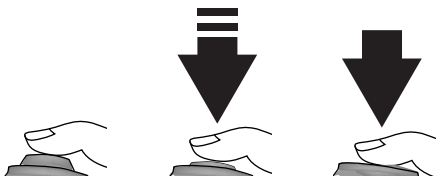
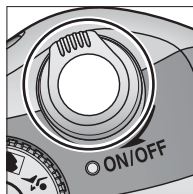
風景モード

スポーツモード

夜景ポートレートモード

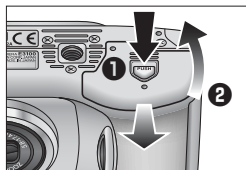
アシスト機能が付いたシーンモードで撮影できます。
(38 ～ 43)

メニュー操作時のマルチセレクターの使い方

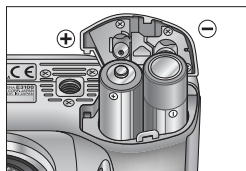
COOLPIX3100 のメニューは、マルチセレクターを使用して項目の選択、選択した項目の決定、キャンセルを行います。

シャッターボタンの半押し方法

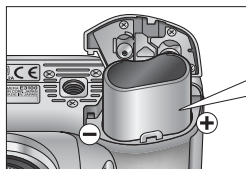
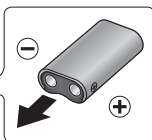
シャッターボタンを軽く押して、途中で止める動作を「シャッターボタンを半押しする」といいます。シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、AF ランプが点灯し、液晶モニタに AF 表示が緑色に点灯します。半押し中は、ピントと露出が固定されます。半押しした状態から、さらに深く押し込むと、シャッターがきれます。

電池を入れます

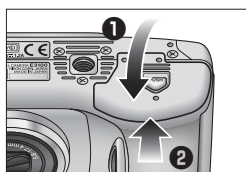
このカメラは以下の電池が使用できます。

- リチャージャブルバッテリー EN-MH1（単三形ニッケル水素電池）（2 本）
  はじめてご使用になるときや電池の残量が少なくなったときは、専用チャージャー MH-70 でフル充電してからご使用ください。充電方法は MH-70 の使用説明書をご覧ください。
- CR-V3 型リチウム電池（1 本）

1 電池室カバーを開けます。

- PUSH ボタンを押しながらスライドさせ（❶）、電池室カバーを開けます（❷）。

EN-MH1、その他の単三形電池の場合

2 電池を入れます。

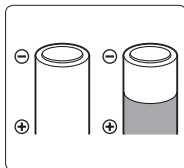
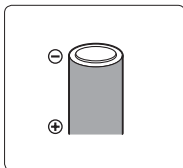
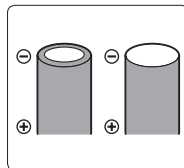
- 電池室内にある図に合わせて、＋と－の方向を正しく入れてください。

CR-V3 の場合

3 電池室カバーを閉じます。

- カバーを閉じて（❶）、スライドさせます（❷）。
- カバーがしっかりと閉じていることを確認してください。

電池についてのご注意

- 電池を取り出す場合は、カメラの電源をOFFにして、電源ランプが消灯していることを確認してから取り出してください。
- 電池を入れる際は「安全上のご注意」の「警告」、「危険」、「注意」(1～7)や「電池の取り扱いについて」(95)の注意事項を必ずお守りください。

このような形状の電池はご使用になれません

- 外装シール(絶縁被覆)を一部またはすべて剥がしている電池や、破れている電池を使用すると、液漏れ、発熱、破裂の原因となります。絶対に使用しないでください。
- 市販されているままの状態でも、電池によっては外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対に使用しないでください。

使用できない電池の形状

外装シールの一部またはすべてが剥がしてある電池

マイナス電極の一部が膨らんでいるが、外装シールが側面だけの電池

マイナス電極が平らな電池(マイナス電極が外装シールで覆われていても、覆われていなくても使用できません。)

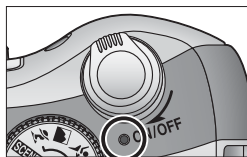
使用できるその他の電源について

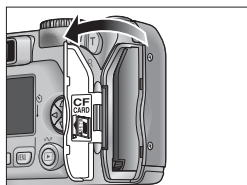
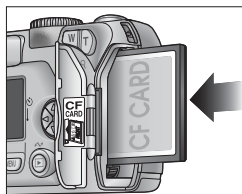
- 再生時やパソコンとの接続時などカメラを長時間ご使用になる場合は別売のACアダプタEH-61(92)のご使用をおすすめします。ACアダプタを使用すると、家庭用電源(AC100V)からCOOLPIX3100へ電源を供給することができます。EH-61以外のACアダプタは**絶対に使用しないでください**。カメラの故障、発熱の原因となります。
- 市販の単三形ニッケルマンガン電池(ZR6)(2本)、単三形ニッケル乾電池(ZR6)(2本)、単三形リチウム電池(FR6/L91)(2本)も使用できます。
- アルカリ乾電池は使用できません。

EN-MH1の充電について

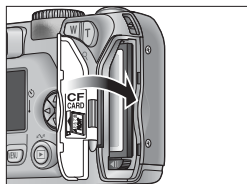
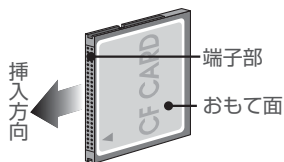
- 充電式バッテリーはお買い上げ時や長い間使用しなかった時、持続時間が短い場合があります。これはバッテリーの特性によるもので、数回繰り返し使うことにより十分充電されるようになります。
- EN-MH1は、専用チャージャーMH-70で2本同時に充電してください。また、2組以上のEN-MH1を使用する場合、残量の異なる電池が混在しないようにしてください。

CF カードを入れます

COOPIX3100 で撮影した画像は、CF カードに記録、保存されます。

1 カメラの電源が OFF になっていることを確認します。

電源ランプが消灯していることを確認してください。

2 CF カードカバーを開けます。

3 CF カードを入れます。

CF カードをカバー裏側にある図のように差し込み、矢印方向にしっかりと奥まで挿入します。イジェクトレバーの先端と CF カードの先端がそろうと CF カードが正しく装着されたことになります。

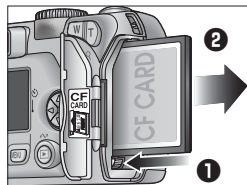
- CF カードを装着するときには、CF カードの端子側からカメラに挿入してください。
- 向きを間違えて装着すると、カメラおよび CF カードを破損するおそれがあります。正しい方向で挿入しているか、再度ご確認ください。

4 CF カードカバーを閉めます。

CF カードの初期化

付属の CF カードは COOLPIX3100 用に初期化されています。その他の CF カードを初めて COOLPIX3100 で使用する場合は、あらかじめ CF カードを初期化する必要があります。詳しい手順については、「カードの初期化」(77) をご覧ください。

CF カードを取り出すには

CF カードカバーを開け、イジェクトレバーを押し込むと (❶)、CF カードが出てきますので (❷)、CF カードを取り出してください 。

- CF カードを取り出すときも、必ずカメラの電源を OFF にしてください。
- カメラの使用直後は、CF カードが熱くなっていることがあります。取り出すときは十分ご注意ください。

使用できる CF カード

付属の CF カードおよびニコン CF カード EC-CF シリーズ以外に、次の他社製カードが動作確認されております。

- SanDisk 社製

SDCFB シリーズ	32MB、64MB、128MB、256MB、512MB、1GB
SDCFH シリーズ	128MB、192MB、256MB、384MB、512MB

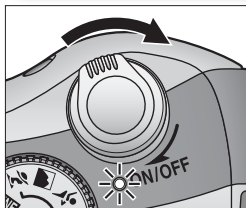
- LEXAR MEDIA 社製

4X USB シリーズ	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB、512MB
8X USB シリーズ	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB、512MB
12X USB シリーズ	64MB、128MB、256MB、512MB
16X USB シリーズ	64MB、128MB、256MB、512MB
24X USB シリーズ	64MB、128MB、256MB、512MB
24XWA USB シリーズ	64MB、128MB、256MB、512MB

- 日立製

HB28BxxxC8x シリーズ	128MB、256MB、512MB

その他のメーカーの CF カードについては動作の保証はいたしかねます。上記 CF カードの詳細については、各社にご相談ください。

電源を ON にして、電池の残量を確認します

1 電源を ON にします。

- 電源スイッチを回し、止まるところで静かに指をはなします。
- 電源が ON になると、電源ランプが点灯します。
- モードダイヤルは SET UP 以外にセットします。

2 液晶モニタに表示されるバッテリーチェック表示を確認します。

バッテリーチェック表示

表示	意味	カメラの状態
表示なし	電池の残量は十分です。	撮影可能
（点灯）	電池の残量が少なくなりました。電池交換の準備をしてください。	撮影可能 • 連写コマ数などに制限があります • スピードライト発光後、充電中は液晶モニタが消灯します
電池残量がありません。	電池の残量がなくなりました。充電済みまたは新品の電池と交換してください。	撮影できません

※ 電池の残量がなくなる直前には、スピードライトランプと AF ランプが同時にゆっくりと点滅し、「電池残量がありません」という警告メッセージ (96) が表示されます。

▶ ボタンによる電源 ON

▶ ボタンを 1 秒以上押しつづけた場合も電源が ON になります。この場合は直接 1 コマ再生モード (32) に入ります。

電源ランプについて

電源ランプの状態は、次の意味を表しています。
- 電源ランプ点灯：電源 ON
- 電源ランプ点滅：オートパワーオフ機能作動中（スリープ状態）
- 電源ランプ消灯：電源 OFF

カメラの電源を OFF にするときは

電源ランプが点灯しているときに、電源スイッチを回すと、電源は OFF になります。
- 電源ランプが消灯するまで電池を取り出したり AC アダプタを外したりしないでください。

オートパワーオフ機能（低消費電力モード）

電源を ON にして、操作のないまま約 30 秒（初期設定）経過すると、オートパワーオフ機能が作動し、カメラの機能をすべて停止して、バッテリーの消耗を抑えます。オートパワーオフ機能の作動中は、電源ランプが点滅します。オートパワーオフ機能は次の操作で解除できます。
- 電源スイッチを回す。
- [□] ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しする。
- [▶] ボタンを押す（再生モードになります）。
- **MENU** ボタンを押す（各モードのメニュー画面が表示されます）。
- モードダイヤルを回す（設定したモードに入ります）。

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間はセットアップメニューの「オートパワーオフ」から 30 秒、1 分、5 分、30 分のいずれかに設定できます（90）（ただし、メニューが表示されている場合は 3 分に、AC アダプタ EH-61 を使用している場合は 30 分に固定）。オートパワーオフ機能が作動してから操作のないまま約 3 分経過すると、自動的に電源が OFF になり、電源ランプが消灯します。

日付と時刻を設定します

カメラをはじめてご使用になる場合や、バックアップ電池が切れた場合は、以下の手順にしたがって日時を設定してください。

1

モードダイヤルを SET UP に合わせて、電源を ON にします。

2

マルチセレクターの▼を押して「日時設定」を選択します。

3

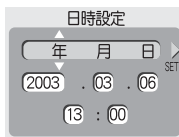
▶を押します。「日時設定」の画面に切り換わります。

4

「年」が赤で表示され点滅しています。▲または▼で年を合わせます。

5

▶を押して、「月」の設定に移ります。4と5の手順を繰り返して、月、日、時、分を順番に選択し、現在の日付・時刻に合わせます。

6

▶を押します。「年月日」の位置が赤で表示されて、文字が点滅します。

7

▲または▼で「年月日」「月日年」「日月年」の中から、日付の表示順を選択します。

8

▶を押します。表示順が決定して、セットアップメニューが表示され、日付と時刻の設定は終了です。

日時を設定しないときは

日付と時刻が設定されていない場合は、撮影時に液晶モニタの右上に時計マーク（🕘）が点滅し（14）、撮影した画像の撮影日時情報には「0000.00.00　00:00」と記録されます。

バックアップ電池について

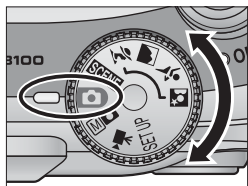
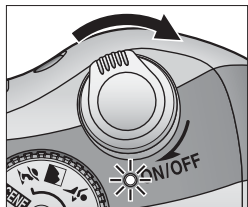
バックアップ電池は電池やACアダプタでカメラに電源が供給されていると、約10時間で充電されます。充電が完了すると、カメラの電池を取り出したり、ACアダプタをはずしても、記憶された日時は数日間保持されます。

- バックアップ電池の充電が不十分な場合は、一度セットした日時データが失われることがあります。

Nikon Viewを使用した日時の自動設定

ご使用のパソコンのOSがWindows XPまたはMac OS Xの場合、カメラのセットアップメニューの「USB」を「PTP」に設定してカメラとパソコンを接続すると（55）、Nikon View（バージョン6.0.0以降）を使用してパソコンに設定されている日付と時刻を自動的にカメラに設定することができます。詳しくは、Nikon Viewリファレンスマニュアルをご覧ください。

1. モードダイヤルを （オート撮影）モードにセットします

（オート撮影）モードにセットすると、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的にセットされるので、初めてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

1 カメラのモードダイヤルを に合わせます。

2 カメラの電源を ON にします。

- 電源を ON にすると電源ランプが点灯し、液晶モニタにオープニング画面（ 88）が表示されたあと、撮影画面に変わります。

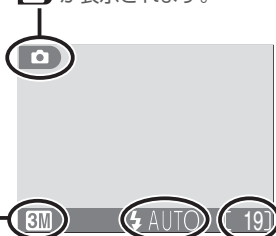
撮影モード / シーンモード

オート撮影モード時には が表示されます。

画像モード

撮影目的に応じて、5 種類の画像モードの中から好みのモードに変えられます。初期設定は 3M です。詳しくは、撮影メニューの「画像モード」（ 68）をご覧ください。

スピードライトモード

撮影目的や意図に合わせて 4 種類のスピードライトモードから選択できます。初期設定は AUTO（オート）（ 34）です。

撮影可能コマ数

撮影可能コマ数は装着している CF カードの残量（メモリ残量）と画像モード（ 69）によって異なります。

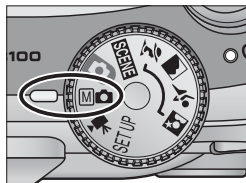
メモリ残量について

CF カードに撮影できるメモリー残量がない場合には、「メモリー残量がありません」という警告メッセージ (97) が表示され、撮影を行うことができません。このときは以下のいずれかの方法で対応して下さい。

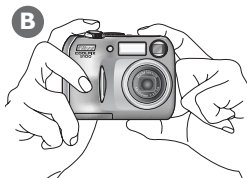
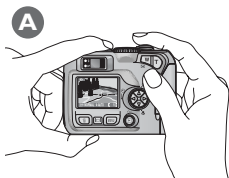
- 画像モードを変更する (68)(変更しても条件によっては撮影できない場合があります)。
- 新しい CF カードに交換する (21)。
- CF カードに記録されている画像を削除する (82)。

M マニュアル撮影モード

モードダイヤルを M にセットすると、モードの機能に加え、ホワイトバランスや輪郭強調、連写などの 8 種類の撮影メニューが設定できます。撮影者が意図的にいろいろ工夫できるモードです。詳しくは撮影メニューの各項目 (66) をご覧ください。

撮影の基本ステップ

2. カメラを構え、構図を決めます

1 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、カメラは両手でしっかりと持ってください。
- 構図を決めるには、液晶モニタを見ながらでも(A)、ファインダーをのぞきながらでも(B)、どちらでも行えます。

カメラを構えるときのご注意

カメラ前面のレンズやスピードライト発光部などに指や髪、ストラップ、AC アダプタのコードがかかったりしないように十分に注意してください。

広角側　　望遠側

液晶モニタ上部の表示はズームの量を表します。

電子ズーム時

2 構図を決めます。

写したいもの（被写体）を画面の中央に合わせ、構図を決めます。

- このカメラは、3 倍のズームレンズを装備しています。ズームボタン（**W**・**T**）を押すことにより、撮影する範囲を変更することができます。
- **W** ボタンを押すと、レンズが広角側にズーミングして、撮影する範囲が徐々に広くなります。**T** ボタンを押すと、レンズが望遠側にズーミングして、被写体を大きく写すことができます。
- 光学ズームを最も望遠側にして、**T** ボタンを 2 秒以上押し続けると、自動的に電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率（3 倍）の約 4 倍（合計 12 倍）まで拡大することができます。電子ズームが作動すると、ズーム表示が黄色に変わり、AF ランプが点滅します。
- 電子ズームをキャンセルするには、ズーム表示が白色に戻るまで **W** ボタンを押し続けてください。

電子ズームについてのご注意

- 電子ズームはファインダーでは確認できません。必ず液晶モニタで確認してください。
- 電子ズームは、カメラがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームとは違い、画像の中央部分を単に画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。
- 液晶モニタ消灯時や「マルチ連写 1」「マルチ連写 2」にセットされているときは、電子ズームは作動しません。

暗い場所で撮影するときの液晶モニタ画面について

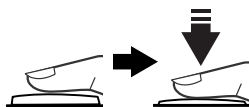
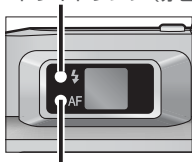
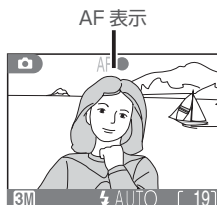
暗い場所で撮影する場合、液晶モニタを見やすくするために通常の撮影時の画面にくらべてざらついた画面になることがあります。

液晶モニタとファインダーについて

次の場合はファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲が異なりますので、液晶モニタで構図を確認してください。

- カメラと被写体の距離が近い場合（特に 1m 以内の場合）
- 電子ズームを使用する場合（28）

明るい場所で液晶モニタが見えにくいときや、電池の残量が気になる場合などにはファインダーを使った撮影をおすすめします。

3. ピントを合わせて撮影します

スピードライトランプ（赤色）

AF ランプ（緑色）

1 シャッターボタンを半押しして、ピントが合っていることを確認します。

- シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、半押し中はピントと露出が固定されます。
- ピントはオートフォーカスで、画面中央部にある被写体に合います。

シャッターボタンを半押ししたときのスピードライトランプ、AF ランプは次のとおりです。

状態		意味
スピードライトランプ	点灯	シャッターボタンを押し込むと、スピードライトが発光します。
	点滅	スピードライトが充電中です。いったんシャッターボタンから指を離し、もう一度押し直してください。
	消灯	スピードライトは発光しません。
AF ランプ/AF 表示	点灯	画面中央の被写体にピントが合っています。
	点滅	被写体にピントを合わせることができません。構図を変えて再度ピントを合わせてください。

2 ゆっくりとシャッターボタンを押し込み、撮影します。

- シャッターボタンを最後まで押し込むと撮影できます。
- シャッターボタンを一気に押すと手ブレの原因になります。シャッターボタンはゆっくりと押し込んで下さい。

画像記録中についてのご注意

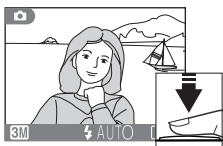
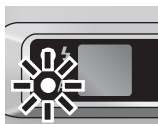
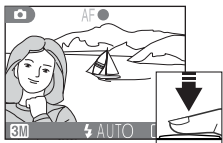
- AF ランプが点滅中および液晶モニタに （画像記録中表示）や マークが表示されている間は、画像の記録中です。
- 液晶モニタに マークが表示されるまでは撮影を続けることができます。
- マークまたは が表示されている場合は、CF カードを取り出したり、電池を抜いたりしないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影した画像や CF カードがこわれたりする場合があります。

オートフォーカスが苦手な被写体について

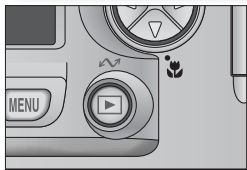
次のような場合、オートフォーカスではピント合わせができないことがあります。

- 被写体が非常に暗い場合
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない場合（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）を撮影する場合
- 動きの速い被写体を撮影する場合

AF ロックについて

シャッターボタンを半押しして画面中央部の被写体にピントを合わせ、そのまま半押しを続けると、ピントはそのまま固定（AF ロック）されます。AF ロックは構図を工夫したい撮影や、オートフォーカスが苦手な被写体（上記参照）の撮影の時などに便利です。

1 ピントを合わせます。
写したいものが画面の中央になるようにカメラを向け、シャッターボタンを半押しします。

2 AF ランプを確認します。
ピントが合うと、ファインダーの横の AF ランプおよび液晶モニタの上にある AF 表示が点灯します。
- シャッターボタンを半押ししている間はピントと露出が固定されます。

3 シャッターボタンを半押ししたまま構図を変えます。
- カメラから被写体までの距離を変えないでください。被写体との距離が変わった場合は、いったんシャッターボタンから指を離し、ピントを合わせなおしてください。

4 シャッターボタンを押し込んで撮影します。

4. 撮影した画像を確認します

1　▶ ボタンを押します。

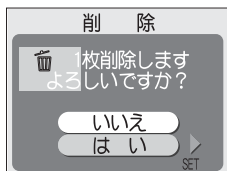
2　液晶モニタに再生画面が表示されます。

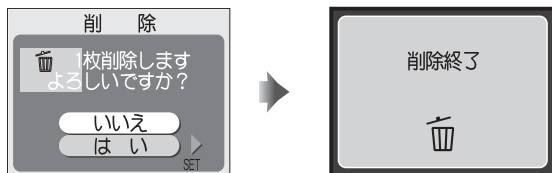
- これを 1 コマ再生モードといいます。
- 最後に撮影された画像が表示されます。
- マルチセレクターの▲または◀で前画像を見ることができます。▼または▶で次画像を見ることができます。画像を早送りしたい場合はマルチセレクターを押しつづけてください。

1 コマ再生モードをキャンセルして撮影モードに戻る場合は、再度 ▶ ボタンを押してください。

表示中の画像を削除する場合

🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▼を押して、「はい」を選択し、▶を押すと、表示された画像が削除されます。

- 「いいえ」を選択して▶を押すと、画像が削除されずに 1 コマ再生モードに戻ります。

撮影モードで画像を削除する場合

撮影モードで 🗑 ボタンを押すと、最後に撮影した画像が削除できます。確認画面が表示されますので、マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択します。▶を押すと選択が実行されます。

画像再生について

カード内の画像を素早くスクロールできるようにするために、スクロール直後は画像が粗くなることがあります。

ファイル名とフォルダ名

COOLPIX3100 で撮影した画像または画像編集を行った画像は、カメラが自動的に作成するファイル名で保存されます（例：DSCN0001.JPG）。最初の 4 文字はファイル名を表しており、次の 4 桁の番号は撮影順に連番でつけられます（最初の 4 文字はカメラの液晶モニタには表示されません。パソコンに画像を転送した場合に確認できます）。各ファイル名の最後には、画像のタイプを示す拡張子がつきます。

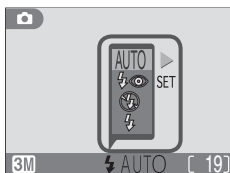
画像のタイプ		ファイル名	拡張子	👁
撮影した画像	静止画	DSCN	.JPG	32
	動画	DSCN	.MOV	63
画像編集を行った画像	画像編集で作成された画像	FSCN	.JPG	51
	スモールピクチャー	SSCN	.JPG	52
	トリミングで作成された画像	RSCN	.JPG	53

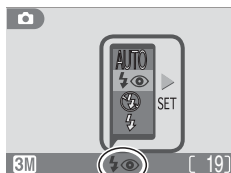
- ファイルを保存するフォルダはカメラが自動的に作成し、フォルダ名には 3 桁のフォルダ番号がつけられます（例：100NIKON）。
- ひとつのフォルダ内に 200 コマの画像がある場合には、フォルダ番号に 1 を加えた新しいフォルダ（例：100NIKON → 101NIKON）を自動的に作成します。
- フォルダ内のファイル名の画像番号が 9999 に達した場合には、カメラが自動的にフォルダを作成し、その新規フォルダ内で再び 0001 から連番をつけます。
- フォルダ番号が 999 のときにファイル名の画像番号が 9999 に達した場合には、CF カードの記録容量に余裕があっても、それ以上撮影できません。CF カードを交換するか、CF カードを初期化（👁 77）してください。

暗いところでは—スピードライトの使い方

撮影目的や撮影意図に合わせて 4 種類のスピードライトモードを選択できます。

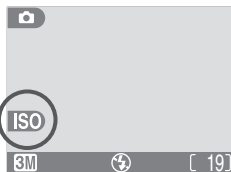
モード	機能	使用場面
AUTO 自動発光	被写体が暗い場合にスピードライトが自動的に発光します。	• 一般的なスピードライト撮影をする場合に使用します。
赤目軽減自動発光	スピードライトが発光する前にあらかじめ数回小発光させて、人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。	• ポートレート撮影に使用します（撮影の際、被写体の人物にスピードライトが小発光するのをしっかり見てもらうと効果が上がります）。 • シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません。
発光禁止	スピードライトの発光を禁止します。	• 自然光撮影したい場合、またはスピードライトの使用が禁止される場所で撮影するときに設定します。 • 手ブレ警告表示（ ）が表示される場合は手ブレに注意して撮影してください。
強制発光	被写体の明るさに関係なく、必ずスピードライトが発光します。	• 昼間の屋外撮影などで顔に影がかかる場合などに使用します。

1

撮影モードにセットして、マルチセレクターの▲（ ）を押すと、モードのリストが表示されます。

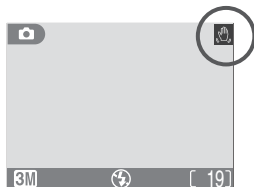
2

▲または▼を押して、セットしたいモードのアイコンを選択します。
▶を押すとスピードライトモードがセットされ、液晶モニタに選択したモードのアイコンが表示されます（マルチセレクターの▶を押さないまま 2 秒以上経過した場合は元の設定でメニューを閉じます）。

感度表示について

「撮像感度」とは、カメラが光に対して反応する速度を表したものです。通常、COOLPIX3100 の撮像感度は ISO50 に相当します。

暗い場所で発光禁止 (⊛) にセットされているときは、シャッタースピードの低下による手ブレを防ぐためにカメラが自動的に感度を上げることがあります。撮像感度が上がっている状態では、液晶モニタに感度表示 (**ISO**) が表示されます。

ISO が表示されているときに撮影された画像は、標準感度に比べ多少ザラついた画像になります。

暗い場所で撮影するときのご注意

発光禁止 (⊛) にセットして暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、液晶モニタに手ブレ警告表示 (✋) が表示されますので、三脚などでカメラを安定させて撮影してください。このような状況で撮影された画像にはノイズが発生する場合があります。

調光範囲

調光範囲は、広角側で約 0.4 ～ 3.0m、望遠側で約 0.4 ～ 1.7m です。

近距離撮影時のご注意

40cm よりも近距離側でスピードライトを使用すると、光が十分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。テスト撮影をして、液晶モニタで画像をご確認ください。

スピードライトモードの設定：記憶について

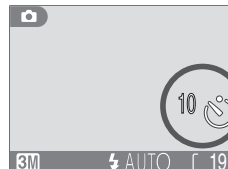
- 撮影モードが 📷 の場合：スピードライトモードを ⚡AUTO または ⚡👁 に設定して撮影を行うと、電源を OFF にしてもそのモードが記憶されます。「設定クリア」(🔍 91) を行った場合も、⚡AUTO または ⚡👁 に戻ります。
- 撮影モードが M📷 の場合：電源を OFF にしても、設定したスピードライトモードが記憶されます。「設定クリア」(🔍 91) を行うと、⚡AUTO に戻ります。
- スピードライトモードを変更できるシーンモードの場合：電源を OFF にしたり、「設定クリア」(🔍 91) を行うと、シーンごとの初期設定に戻ります。

自分も一緒に写すには—セルフタイマーの使い方

セルフタイマーを使用すると、シャッターボタンを押してから 10 秒後に撮影が行われます。撮影者自身が写りたい時や、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防ぎたい時などに便利です。

1

撮影モードにセットして、マルチセレクターの◀（⏲）を押すと、リストが表示されます。

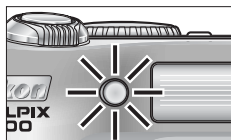
2

▼を押して、ON を選択します。

3

▶を押すとセルフタイマーモードが ON にセットされ、アイコンが液晶モニタに表示されます（マルチセレクターの▶を押さないまま 2 秒以上経過した場合は元の設定でリストを閉じます）。

4

構図を決め、シャッターボタンを押し込んで、セルフタイマーを作動させます。

- 撮影までの秒数を示すカウントダウン表示が液晶モニタに表示されます。

- シャッターボタンを押すとピントと露出が固定され、カメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。セルフタイマーランプはシャッターがきれる直前に約 1 秒間点灯します。

セルフタイマーを停止するには

作動中のセルフタイマーを停止するには、もう一度シャッターボタンを押してください。

セルフタイマー使用時のご注意

- セルフタイマーを使用するときは、三脚などでカメラを安定させてください。
- 選択されている撮影モードやシーンモードによっては、セルフタイマーを ON に設定できない場合があります（39 ～ 47）。

手軽に接写するには—マクロモードの使い方

マクロモードを ON にすると、最短 4cm まで被写体に近づいて近接撮影を行うことができます。

1

撮影モードにセットして、マルチセレクターの▼（🌷）を押すと、リストが表示されます。

2

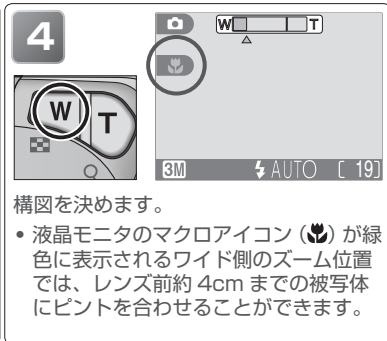
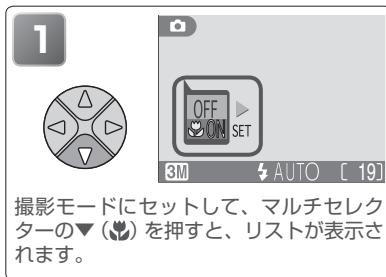
▼を押して、ON を選択します。

3

▶を押すとマクロモードが ON にセットされ、アイコンが液晶モニタに表示されます（▶を押さないまま 2 秒以上経過した場合は、マクロモードが変更されないまま撮影画面に戻ります）。

4

構図を決めます。

- 液晶モニタのマクロアイコン（🌷）が緑色に表示されるワイド側のズーム位置では、レンズ前約 4cm までの被写体にピントを合わせることができます。

マクロモードについてのご注意

- 選択されている撮影モードやシーンモードによっては、マクロモードを ON に設定できない場合があります（39 ～ 47）。
- マクロモードで近接撮影する場合は、ファインダーで確認した構図と実際に写る範囲の間にズレが生じますので、液晶モニタを見て構図を決めてください。
- マクロモードでは、シャッターボタンの半押しで AF ロックが行われるまで、カメラは常に AF によるピント合わせを繰り返し行います。

シーンモードについて

COOLPIX3100 では、10 種類のシーンモードと 4 種類のアシスト機能付きシーンモードが用意されています。これらのモードでは、選択された「シーン」に合わせて、カメラが各種設定を最適な状態にセットしますので、撮影状況や被写体に合ったシーンモードを選択するだけで、シーンに合った撮影が簡単に楽しめます。

アシスト機能付きシーンモード

モードダイヤルで選択します。

アシスト機能付きシーンモード	撮影状況	👁
ポートレート	背景をぼかし、人物を強調させたポートレート写真を撮影したいとき。	40
風景	木々の緑や青空などを強調した風景写真を撮影したいときや、風景をバックにした人物撮影をしたいとき。	41
スポーツ	動きの激しい被写体の一瞬の動きをとらえた躍動感のあるスポーツ写真を撮影したいとき。	42
夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を撮影したいとき。	43

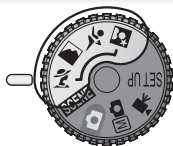
シーンモード

モードダイヤルを SCENE にセットした後、**MENU** ボタンを押します。

シーンモード	撮影状況	👁
パーティー	パーティー会場などで、キャンドルライトをきれいに写すなど被写体の背景を活かした雰囲気のある撮影をしたいとき。	45
海・雪	晴天の海や湖、砂浜や雪景色を撮影したいとき。	45
夕焼け	美しい赤い夕焼け（朝焼け）を撮影したいとき。	45
トワイライト	夜明け前や日没後のわずかな自然光のなかで、風景を見たままに写したいとき。	46
夜景	きれいな夜景写真を撮影したいとき。	46
クローズアップ	草花や昆虫、小さな被写体などを色鮮やかに撮影したいとき。	46
ミュージアム	スピードライトを発光させたくない場所で撮影したいとき。	47
打ち上げ花火	大きく広がる打ち上げ花火をきれいに撮影したいとき。	47
モノクロコピー	ホワイトボードや印刷物の文字、線画をシャープに複写したいとき。	47
逆光	逆光で人物が影になってしまうときに人物が影にならないように撮影したいとき。	47

アシスト機能付きシーンモード

モードダイヤルでアシスト機能付きシーンモードを選択します。

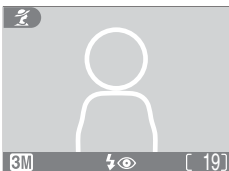
アシスト機能を使用すると、液晶モニタに表示されるフレーム位置で、ピントや露出の合った撮影が可能です。アシスト機能を使用する場合は、次の手順で撮影を行ってください。

1

モードダイヤルをアシスト機能付きシーンモードに合わせ、**MENU** ボタンを押すと、アシスト機能の選択画面が表示されます。

- ◀を押すとメニュー選択画面に入ります(66)。

2

マルチセレクターの▲または▼を押して、使用するアシスト機能を選択します。

3

▶を押すと、液晶モニタにガイドが表示されます。

4

表示されるガイドと画像の構図を合わせて撮影します。

ガイド使用時のご注意

- ガイドは目安としてお使いください。被写体をガイドに正確に合わせる必要はありません。
- **被写体をガイドに合わせる時は、周りの状況や足もとをご確認ください。**

思いどおりの画像にならない場合は

撮影状況によっては、選択したシーンモードでは期待どおりの結果にならない場合があります。このような場合は、📷 モードまたは M📷 モードで再度撮影することをおすすめします。

ポートレートモード

人物撮影に使用します。背景をぼかし、人物を浮き立たせて立体感のある画像に仕上げます。アシスト機能を使用すると、被写体が画面の中心になくても、ピントや露出の合った撮影が可能です。

ポートレートモードでは次のアシスト機能が選択できます。

※ スピードライトモードは自動的に（赤目軽減自動発光）にセットされます。セット後に、すべてのスピードライトモードに変更可能です。

ポートレート

液晶モニタにガイドは表示されません。画面の中央にある被写体にピントが合います。

- 被写体が画面の中央にない場合は、AF ロック (31) を行ってください。

人物左

人物の顔を画面のやや左寄りにアップで撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示されるガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。

人物右

人物の顔を画面のやや右寄りにアップで撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示されるガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。

ウエストショット

人物を腰から上のアップで撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示されるガイドの顔と重なる部分にピントと露出を合わせます。

ツーショット

2 人並んだ人物を腰から上のアップで撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示される 2 つのガイドのうち、重なる部分の近い方にピントと露出を合わせます。

縦位置

人物を縦位置で撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示されるガイドの顔と重なる部分にピントと露出を合わせます。

風景モード

風景写真を撮影したいときに使用します。木々の緑や青空などの輪郭やコントラストを強調して鮮やかな色の画像に仕上げます。アシスト機能を選択すると、風景だけではなく、風景を背景にした人物撮影にも適した撮影が行えます。

風景モードでは次のアシスト機能が選択できます。

※スピードライトモードは自動的に（発光禁止）にセットされます。
「左背景」と「右背景」ではセット後に、すべてのスピードライトモードに変更可能です。
また、マクロモードは使用できません。

風景

液晶モニタにガイドは表示されません。

- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。

山

遠くの山並みを撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに 2 本のガイドラインが横方向に表示されます。山の稜線が上側の黄色い波形のガイドに重なるように構図を合わせます。

建物

建物を撮影する場合に適しています。

- 構図を合わせやすいように、格子状のガイドを表示します。

左背景

背景を左に、人物を右に配置した構図で撮影する場合に適しています。

- 背景と人物の両方にピントが合います。

右背景

背景を右に、人物を左に配置した構図で撮影する場合に適しています。

- 背景と人物の両方にピントが合います。

スポーツモード

高速シャッターで一瞬の動きを鮮明に写します。動きの速い被写体の一瞬の動きを捕らえた躍動感のあるスポーツ写真を撮影したいときに使用します。
アシスト機能を選択すると、連続撮影や、シャッターチャンスを優先した撮影が行えます。

スポーツモードでは次のアシスト機能が選択できます。

※ スピードライトモードは自動的に (発光禁止) にセットされます。
また、セルフタイマーおよびマクロモードは使用できません。

スポーツ

シャッターボタンを深く押し続けることにより、約 1.5 コマ / 秒で連続撮影できます。
- 画像モードが 3M 標準 (2048) の場合、連続で約 5 コマ撮影できます。
- ピントと露出は 1 コマ目の画像を撮影した条件に固定されます。

スポーツ観戦

シャッターチャンスを優先するため、シャッターボタンを半押しせずに一度に押し込んでもシャッターがきれます。カメラから約 3m ～∞の距離で撮影できます。動きの激しい被写体でシャッターチャンスを最優先する場合に使用します。

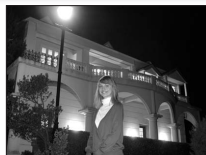
スポーツマルチ連写

シャッターボタンを押し込むと、約 2 秒間で 16 コマの画像を撮影します。画像は 4 × 4 枚に並べられ、1 コマのエコノミー（1600 × 1200）画像として記録されます。
- ピントと露出は 1 コマ目の画像を撮影した条件に固定されます。

スポーツモードについてのご注意

「スポーツ」、「スポーツマルチ連写」では、シャッターボタンの半押しで AF ロックが行われるまで、カメラは常に AF によるピント合わせを繰り返し行います。

夜景ポートレートモード

夕景や、夜景をバックに人物を撮影したいとき、背景を黒くつぶすことなく、人物も背景も自然に表現できます。アシスト機能を使用すると、被写体が画面の中心になくても、ピントや露出の合った撮影が可能です。

- アシスト機能の内容はポートレートモードの場合と同様です（40）。
- 手ブレしないように三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。
- ノイズが画像に発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、画像の記録時間が通常の 2 倍以上かかります。

※スピードライトモードは自動的に（赤目軽減自動発光）にセットされます。

SCENE シーンモード

10 種類のシーンモードが選択できます。選択された「シーン」に合わせてカメラが各種設定を最適な状態にセットします。撮影状況や被写体に合ったシーンモードを選択するだけで、複雑な設定をしなくても思いどおりの撮影が簡単に楽しめます。

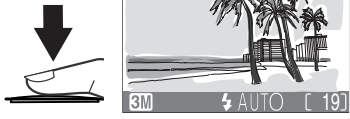
シーンモードは次のように使用します。

1

モードダイヤルを SCENE に合わせ、**MENU** ボタンを押すと、シーンモードの選択画面が表示されます。

- ◀ を押すとメニュー選択画面に入ります (66)。

2

マルチセレクターの▲または▼を押して、使用するシーンモードのアイコンを選択します。

3

▶を押すと、選択したシーンモードがセットされて、撮影画面に戻ります。

- 選択したシーンモードのアイコンが液晶モニタの左上に表示されます。

4

撮影します。

選択されているシーンモードによって、スピードライトモード (; 34)、マクロモード (; 37)、セルフタイマーモード (; 36) に制限がかかります。詳しくは各シーンモードの説明をご覧ください。

思いどおりの画像にならない場合は

撮影状況によっては、選択したシーンモードでは期待どおりの結果にならない場合があります。このような場合は、 モードまたは M モードで再度撮影することをおすすめします。

各シーンモードの内容は次のとおりです。

パーティー

パーティー会場などで、キャンドルライトをきれいに写すなど被写体の背景を活かした雰囲気のある画像に仕上げます。

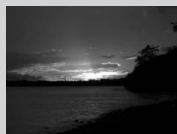
- 手ブレ度合い：★

フラッシュ	(赤目軽減自動発光)	マクロ	OFF

海・雪

晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影します。

フラッシュ	AUTO（自動発光）	マクロ	OFF

※シーンモードセット後に、すべてのスピードライトモードに変更可能です。

夕焼け

美しい赤い夕焼け（朝焼け）を見たままに美しく表現します。

- 手ブレ度合い：★

フラッシュ	(発光禁止)	マクロ	OFF

手ブレ度合い表示について

手ブレ度合い表示のあるシーンモードでは、被写体の明るさによってシャッタースピードが遅くなります。この場合、手ブレ度合いに応じて、次のようにカメラを固定してください。

★　：脇を締めて、カメラを固定するようにしっかりと構えてください。
★★：三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。

トワイライト（夜明け直前、日没直後）

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中で、風景を見たままに写します。

- ノイズが画像に発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、画像の記録時間が通常の 2 倍以上かかります。
- 手ブレ度合い：★

フラッシュ	（発光禁止）	マクロ	OFF

夜景

夜景を撮影する際、スローシャッターで夜景の雰囲気を表現した写真を撮影できます。

- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。
- ノイズが画像に発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、画像の記録時間が通常の 2 倍以上かかります。
- 手ブレ度合い：★★

フラッシュ	（発光禁止）	マクロ	OFF

クローズアップ（接写）

クローズアップ写真を撮影したいときに使用します。草花や昆虫、小さな被写体などを色鮮やかに撮影することができます。

- 液晶モニタのマクロアイコン（）が緑色に表示されるワイド側のズーム位置では、レンズ前約 4cm までの被写体にピントを合わせることができます。
- ズーム位置により最短撮影距離は変化します。
- シャッターボタンの半押しで、AF ロックが行われるまで常にピント合わせを行います。
- 手ブレ度合い：★

フラッシュ	**AUTO**（自動発光）	マクロ	**ON**

「クローズアップ」、「ミュージアム」、「モノクロコピー」について

*1 「クローズアップ」、「モノクロコピー」では、シーンモードセット後に、すべてのスピードライトモードに変更可能です。

*2 「ミュージアム」、「モノクロコピー」では、シーンモードセット後に、マクロモードの設定を ON に変更できます。

ミュージアム（美術館や博物館）

スピードライトの発光が禁止されている美術館など、スピードライトを発光させたくない場所で撮影するときに使用します。

- BSS 機能（75）が自動的にオンになります。最大 10 コマの連続撮影を自動的に行い、カメラが自動的により鮮明な画像を 1 コマ選択します。
- 美術館、博物館等によっては撮影が禁止されている場合があります。あらかじめご確認ください。
- 手ブレ度合い：★

（発光禁止）　OFF *2

打ち上げ花火

スローシャッターで、大きく広がる打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。
- 手ブレ度合い：★★

（発光禁止）　OFF

モノクロコピー（白黒写真、本の複写など）

ホワイトボードや名刺、印刷物の文字などを、シャープに複写することができます。

- 複写するものが赤色、青色などの場合、文字などが薄くなることがあります。

（発光禁止）*1　OFF *2

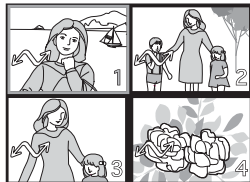
逆光

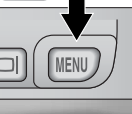
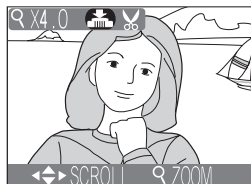
逆光状態の時に、人物が影にならず美しく撮影することができます。

（強制発光）　OFF

カメラで再生する

サムネイル再生モード

▶ ボタンで 1 コマ再生モード（👁 32）に入り、⊞（**W**）ボタンを押すと、液晶モニタに 4 コマの縮小した画像（サムネイル画像）が表示される「サムネイル再生モード」になります。「サムネイル再生モード」で可能な操作は次のとおりです。

機能	ボタン	内容
画像を選択する	マルチセレクター	マルチセレクターの▲、▼、◀または▶を押して画像を選択します。
表示コマ数を変更する	⊞（**W**）/🔍（**T**）	サムネイル画像の 4 コマ表示時に ⊞（**W**）ボタンを押すと、サムネイル画像の 9 コマ表示になります。9 コマ表示時に 🔍（**T**）ボタンを押すと 4 コマ表示に、4 コマ表示時に 🔍（**T**）ボタンを押すと 1 コマ表示になります。
画像を削除する	🗑	削　除 1枚削除します よろしいですか？ いいえ は　い SET 🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択します。▶を押すと、選択が実行されます。

拡大表示

▶ ボタンで 1 コマ再生モードに入り、🔍(**T**) ボタンを押すと、表示された画像を拡大表示できます（拡大表示は動画およびスモールピクチャーの画像では使用できません)。「拡大表示」で可能な操作は次のとおりです。

機能	ボタン	内容
画像を拡大表示する	🔍(**T**)	押すごとに画像を拡大表示します。最大約 6 倍まで拡大されます。拡大表示中は 🔍 アイコンと拡大倍率が液晶モニタの左上に表示されます。
画像の他の部分を表示する	マルチセレクター	マルチセレクターの▲、▼、◀または▶を押すと、画像をスクロールさせて、見たい部分に移動することができます。
拡大倍率を下げる	▦(**W**)	拡大表示時に ▦（**W**）ボタンを押すと、拡大倍率が下がります。もとの 1 コマ再生モードと同じ拡大倍率まで下がると、拡大表示はキャンセルされます。前後の画像を見るときは、拡大表示をキャンセルしてからマルチセレクターを操作してしてください。
トリミング画像を作成する (👁 53)	シャッターボタン	編集した画像を保存します / いいえ / は い / SET 拡大表示時にシャッターボタンを押すと、画像を表示部分のみにトリミングして、元の画像とは別の画像として保存します。確認画面が表示されますので、マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択します。▶を押すと、選択が実行されます。
画像を削除する	🗑	削 除 / 1枚削除します よろしいですか？ / いいえ / は い / SET 🗑 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択します。▶を押すと、選択が実行されます。

画像編集メニューについて

撮影済みの静止画像に特殊効果を加えたり、モノクロやセピア色に変換したり、サイズを変更したり、トリミングなどの編集を加えて、元の画像とは別の画像として保存することができます。

編集する画像を再生しているときに **MENU** ボタンを押すとメニューの選択画面が表示されます。

マルチセレクターの▼を押して「画像編集メニュー」を選択します。

▶を押して画像編集メニューを表示します。

▲または▼を押してメニュー項目を選択し、▶を押すと各メニューが表示されます。

- 元画像を削除しても編集された画像は削除されません。また編集された画像を削除しても元画像は削除されません。
- 元画像のプリント指定やプロテクト設定は反映されません。また編集された画像のプリント指定やプロテクト設定は元画像には反映されません。個別に設定してください。
- 画像編集時に元画像に設定されていた転送設定は反映されます。ただし、編集後はそれぞれ個別に設定を変更できます。
- 編集された画像の撮影日時は、元画像と同じです。

画像編集を行った場合のご注意

COOLPIX3100 の画像編集で作成された画像を COOLPIX3100 以外のデジタルカメラで再生すると、正常に表示できない場合やパソコンへの転送ができない場合があります。

画像編集

画像編集では、次の項目が選択できます。

編集項目	内容
センター	画像の周囲を白っぽく縁取り、画像を柔らかな印象にします。
白黒	モノクロ画像になります。
セピア	セピア調の画像になります。

1

画像編集では、編集項目が表示されます。▲または▼を押して編集項目を選択します。

2

▶を押します。

- 確認画面が表示されます。「はい」を選択して▶を押します。
- キャンセルする場合は、「いいえ」を選択して▶を押します。

- 編集した画像は、すべて NORMAL（JPEG で約 1/8 に圧縮）で保存されます。
- ファイル名は、先頭文字「FSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に 1 を加えた番号）を付けた名前（拡張子は .JPG）となります。
  例：FSCN0015.JPG

画像編集する場合のご注意

画像編集された画像、スモールピクチャー、トリミングで作成された画像を画像編集することはできません。

スモールピクチャー

撮影した画像から小さいサイズの画像を作成します。スモールピクチャーでは、次の画像サイズが選択できます。

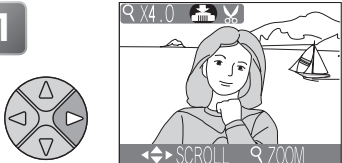
サイズ（ピクセル）	内容
640 × 480	テレビでの表示に適しています。
320 × 240	ホームページでの使用に適しています。読み込みに要する時間が短く済みます。
160 × 120	電子メールに添付した場合に、送信・受信に要する時間が短く済みます。

スモールピクチャーでは、サイズの選択画面が表示されます。

▲または▼を押してサイズを選択します。

▶を押します。

- 確認画面が表示されます。「はい」を選択して▶を押します。
- キャンセルする場合は、「いいえ」を選択して▶を押します。

- 作成されたスモールピクチャーは、BASIC（JPEG で約 1/16 に圧縮）で保存されます。
- ファイル名は、先頭文字「SSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に 1 を加えた番号）を付けた名前（拡張子は .JPG）となります。
  例：SSCN0015.JPG
- スモールピクチャーの拡大表示はできません。
- サムネイル表示時、スモールピクチャーはグレーの枠で表示されます。

スモールピクチャーを作成する場合のご注意

- 画像編集された画像、スモールピクチャー、トリミングで作成された画像からスモールピクチャーを作成することはできません。
- COOLPIX3100 以外で撮影された画像に対しては、スモールピクチャー機能の動作は保証しておりません。

トリミング

元画像を必要な部分のみにトリミングして保存します。

1

トリミングでは、画像が表示されますので、**T** または **W** ボタンで好みの大きさにします。
▲、▼、◀または▶を使用してトリミングしたい部分を表示します。

2

シャッターボタンを押します。

- 画確認画面が表示されまので、「はい」を選択します。
- キャンセルする場合は、「いいえ」を選択します。

- トリミングで作成された画像は、NORMAL（JPEG で約 1/8 に圧縮）で保存されます。
- トリミングで作成された画像の画像サイズは、拡大倍率により異なります。次のうちから最適なものをカメラが自動的に選択します（単位：ピクセル）。
  ・2048 × 1536　・1600 × 1200　・1280 × 960　・1024 × 768
  ・640 × 480　・320 × 240　・160 × 120
- ファイル名は、先頭文字「RSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に 1 を加えた番号）を付けた名前（拡張子は .JPG）となります。
  例：RSCN0015.JPG
- トリミングは、「拡大表示」から行うこともできます（49）。

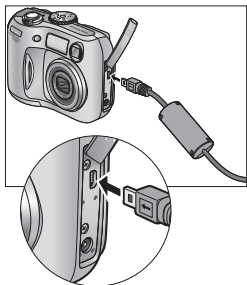
トリミングする場合のご注意

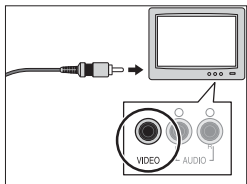
画像編集された画像、スモールピクチャー、トリミングで作成された画像をトリミングすることはできません。

テレビで再生する

付属のビデオケーブル EG-CP11 を使用して、撮影された画像をテレビやビデオデッキで再生することができます。

1 カメラの電源を OFF にします。

2 ビデオケーブルをカメラに接続します。

- 端子カバーを開け、ビデオケーブルの黒いプラグをカメラのビデオ出力端子に接続します。

3 ビデオケーブルを映像機器に接続します。

- ビデオケーブルの黄色のプラグをテレビやビデオデッキなどの映像機器の映像入力端子に接続します。

4 映像機器の入力をビデオ入力または外部入力に切り換えます。

- 詳しくは映像機器の使用説明書をご覧ください。

5 ▶ ボタンを 1 秒以上押して再生モードでカメラの電源を ON にします。

- テレビに撮影された画像が表示され、カメラの液晶モニタは消灯します。

ビデオモード

COOLPIX3100 とテレビまたはビデオデッキを接続する前に、セットアップメニューの「ビデオ出力」(90) で、ビデオ出力形式を確認してください。

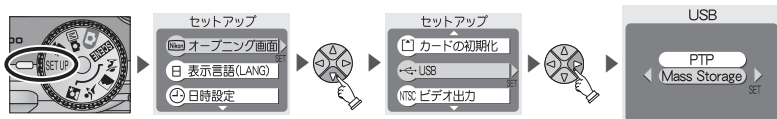
パソコンで再生する

付属の USB ケーブル UC-E6 と Nikon View ソフトウェアを使用して、撮影した画像をパソコンで再生することができます。画像を転送する前に、Nikon View をパソコンにインストールする必要があります。インストール方法、転送方法については、クイックスタートガイド、および Nikon View リファレンスマニュアルをご覧ください。

カメラとパソコンを接続する前に

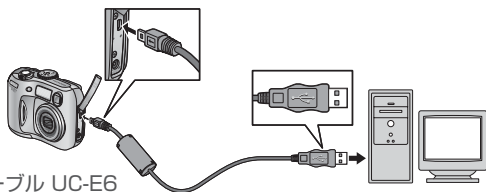
カメラからパソコンへ画像を転送するには 2 つの方法があります。

- カメラの ボタンを使用する方法 (85)
- Nikon View の ボタンを使用する方法

どちらの方法を使用するかは、ご使用のパソコンの OS（オペレーティングシステム）およびカメラとパソコンの通信方式の組み合わせで決まります。通信方式は以下の表を参考にして、セットアップメニューの「USB」で設定してください。初期設定は「Mass Storage」に設定されています。

OS	カメラの ボタン	Nikon View の ボタン
	USB 通信方式	
Windows XP Home Edition Windows XP Professional	**Mass Storage** または **PTP**	**Mass Storage** または **PTP**
Mac OS X（10.1.3 — 10.2）	**PTP**	**Mass Storage** または **PTP**
Mac OS X 10.1.2	—*	
Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition（Me） Windows 98 Second Edition（SE） Windows 98 Mac OS 9（9.0 ～ 9.2）	**Mass Storage**	**Mass Storage**

* Mac OS X 10.1.2 をご使用の場合は、カメラの ボタンでは画像を転送できません。画像を転送する場合は、Nikon View の ボタンを使用してください。

専用 USB ケーブルでパソコンに接続する

カメラの電源が OFF になっていることを確認して、カメラと起動したパソコンを専用 USB ケーブル UC-E6 で下図のように接続します。接続が完了したらカメラの電源を ON にします。

専用 USB ケーブル UC-E6

Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE、Windows 98、Mac OS 9 をご使用の場合のご注意

ご使用の OS が Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE、Mac OS 9 の場合には、セットアップメニューの「USB」を「PTP」に設定しないでください。

「USB」を「PTP」に設定して、上記 OS のパソコンと接続した場合には、下記の要領でパソコンとの接続を外してください。

再度パソコンと接続する場合は、必ず「USB」を「Mass Storage」に変更した後、パソコンと接続してください。

Windows 2000 Professional の場合：

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されますので、「キャンセル (中止)」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows Me の場合：

「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル (中止)」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows 98SE/Windows 98 の場合：

「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル (中止)」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

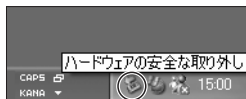
Mac OS 9 (9.0 ～ 9.2) の場合：

「USB 装置 "Nikon Digital Camera E3100_PTP" に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを探しますか？」と表示されますので、「キャンセル (中止)」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

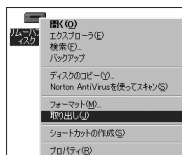
USB ハブについて

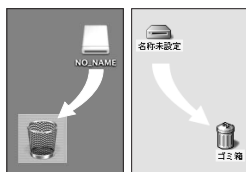
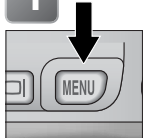
USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

カメラとパソコンの接続を外す

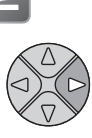
USB 通信方式が「PTP」(55) の場合：
カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。
USB 通信方式が「Mass Storage」の場合：
転送が完了したら、必ず次の操作をしてからカメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

- Windows XP Home Edition/Professional の場合
  パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして「USB 大容量記憶装置デバイス―ドライブ (E:) を安全に取り外します」を選択してください。

- Windows 2000 Professional の場合
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして「USB 大容量記憶装置デバイス―ドライブ (E:) を停止します」を選択してください。

- Windows Millennium Edition の場合
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして「USB ディスク―ドライブ (E:) の停止」を選択してください。

- Windows 98SE/Windows 98 の場合
  マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。

※「ドライブ (E:)」の E はご使用のパソコンによって異なります。

Mac OS X　Mac OS 9

- Mac OS X の場合
  デスクトップ上の「NO_NAME」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。
- Mac OS 9 の場合
  デスクトップ上の「名称未設定」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

画像をプリントする（DPOF プリント設定）

CF カードに記録した画像は、従来の写真のようにプリントして楽しむことができます。再生メニューの「プリント指定」でプリント枚数、日付などを設定した CF カードをデジタルプリントサービス取扱店に持ち込むか、または、家庭用の DPOF 対応プリンタのカードスロットに装着することにより、指定どおりにプリントすることができます。

「プリント指定」メニューの設定方法は次のとおりです。

画像を再生しているときに **MENU** ボタンを押すとメニューの選択画面が表示されます。「再生メニュー」を選択します。

▶を押して「プリント指定」を表示します。

「複数画像選択」を選択して▶を押します。

- 「プリント指定取消」を選択するとすべてのプリント指定を取り消します。

マルチセレクターの ▲、▼、◀または▶ を押して、画像を選択します。

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）

DPOF はデジタルカメラで撮影した画像の中からプリントする画像や枚数、画像情報、日付の情報を CF カードに記録するためのフォーマットです。プリント時にはデジタルプリントサービス取扱店またはご使用のプリンタが DPOF に対応しているか、あらかじめご確認ください。

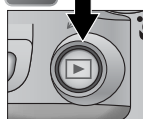
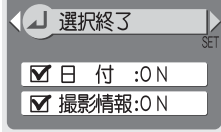
5

T ボタンを押して、プリント指定を設定します。設定された画像には 1（枚数）と 🖶 マークが表示されます。

6

必要に応じて、プリントする枚数を変更します。

- **T** ボタンを押すとプリント枚数は増加し（最高 9 枚）、**W** ボタンを押すと減少します。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が 1 のときに **W** ボタンを押してください。
- 1 ～ 3 の手順を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。
- プリント指定を変更せずに終了するときは、**MENU** ボタンを押してください。

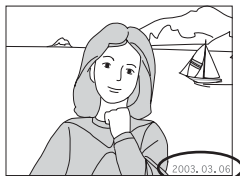
7

▶ ボタンを押すと画像の選択が完了し、「プリント指定」のメニューが表示されます。必要に応じて▲または▼を押してプリント上に印字する情報を選択します。

- 選択したすべての画像の撮影日をプリントするときは、「日付」を選択して▶を押します。「日付」の前の □ に ✓ が入ります。
- 選択したすべての画像のシャッタースピードと絞り値をプリントするときは、「撮影情報」を選択して▶を押します。「撮影情報」の前の □ に ✓ が入ります。
- 選択した項目のチェックを外すときは、その項目を選んで▶を押してください。
- プリント指定を終了し、再生メニューに戻るときは、「選択終了」を選んで▶を押します。
- プリント指定を変更せずに終了するときは、**MENU** ボタンを押してください。

プリント指定のリセット

プリント指定をセットした後、再度「プリント指定」メニューを表示すると、「日付」と「撮影情報」の設定はリセットされますので、再度設定を行ってください。

日付のプリントについて

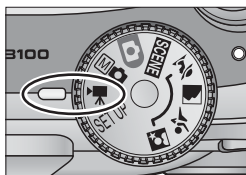
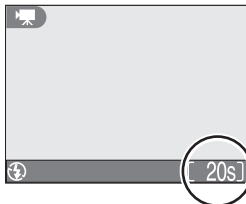
プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの「日時設定」を変更してもプリントされる日付には反映されません。

「デート写し込み」との違いについて

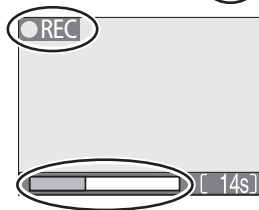
ここで設定した日付はDPOF対応(58)プリンタでのみプリント可能です(プリント位置はプリンタに依存します)。DPOFに対応していないプリンタで日付をプリントする場合は、撮影メニューの「デート写し込みモード」(73)をご使用ください(プリント位置は固定です)。両方を同時に設定した場合は、DPOF対応プリンタを使用しても「デート写し込みモード」による日付のみプリントされます。

動画の撮影と再生

動画の撮影

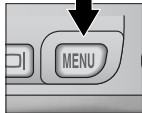
最長 40 秒の動画（音声なし）を撮影できます。動画の撮影方法は次のとおりです。

※スピードライトモードは自動的に (発光禁止) にセットされます。

1 カメラのモードダイヤルを に合わせます。

2 カメラの電源を ON にします。

液晶モニタには撮影可能コマ数のかわりに、記録可能な時間が表示されます。

3 シャッターボタンを押して、撮影を開始します。

撮影中は液晶モニタに● REC アイコンと進行状況を示すバーが表示されます。

4 シャッターボタンをもう一度押して、撮影を終了します。

- 撮影を開始してから 40 秒（TV 再生用の場合は 20 秒）経過した場合や、CF カードの記録容量がなくなった場合は自動的に終了します。

動画モード時のズームについて

動画モード時は、光学ズームのみ使用できます。

動画メニューでは次の動画の種類を選択できます。

動画の種類	内容
カメラ再生用（320）	カラーの動画を画像サイズ 320 × 240 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します（初期設定）。
TV 再生用（640）	カラーの動画を画像サイズ 640 × 480 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します（垂直補間方式）。テレビでの表示に適した画像サイズです。撮影できる時間は最長で 20 秒です。
白黒動画（320）	白黒の動画を画像サイズ 320 × 240 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します。ファイルサイズはカメラ再生用と同様です。
セピア動画（320）	セピア調の動画を画像サイズ 320 × 240 ピクセル、5 フレーム / 秒で撮影します。ファイルサイズはカメラ再生用と同様です。

MENU ボタンを押すと、動画メニューが表示されます。

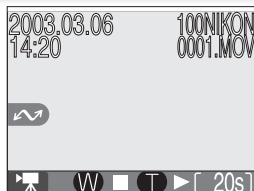
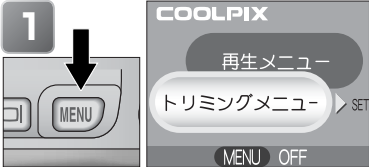
マルチセレクターの▲または▼を押して、動画の種類（下表参照）を選択します。

▶を押すと動画撮影画面が表示されます。

動画について

動画は拡張子が「.MOV」の「Quick Time ムービーファイル」として記録されますので、パソコンに転送して再生することもできます。

動画の再生

撮影された動画の再生は、1 コマ再生モードから行います。動画の画面には 🎥 アイコンが表示されます。動画再生は次のようにズームボタンとマルチセレクターで行います。

機能	ボタン	内容
再生を開始する	Q (T)	動画の再生を開始します。再生が終了すると、最後のフレームが約 1 秒間表示され、続いて最初のフレームが表示されます。
再生を終了する	▦ (W)	動画の再生中に **W** ボタンを押すと、1 コマ再生モードに戻ります。
再生中に一時停止 / 再開する	▼	動画の再生中に▼を押すと、動画は一時停止します。もう一度押すと再開します。
巻き戻す	◀	動画の再生中または一時停止中に◀を長く押し続けると、動画を巻き戻しながら再生します。
早送りする	▶	動画の再生中または一時停止中に▶を長く押し続けると、動画を早送りしながら再生します。最後のフレームが表示されている場合は再生が終了し、最初のフレームに戻ります。
一時停止中に 1 フレーム戻る	◀	動画を一時停止している間に◀を押すと、動画中の 1 フレーム前の画像をコマ送りで戻します。
一時停止中に 1 フレーム送る	▶	動画を一時停止している間に▶を押すと、動画中の 1 フレーム後の画像をコマ送りで再生します。最後のフレームが表示されて一時停止している場合は再生が終了し、最初のフレームに戻ります。

動画のトリミング

動画の前後の不要な部分をカットして、短く編集する動画トリミングが可能です（動画の途中の一部を削除して、前後をつなぎあわせることはできません）。

1

再生モードにして、トリミングする動画をマルチセレクタで選択します。

- **MENU** ボタンを押してメニュー選択画面を表示させます。
- ▲または▼でトリミングメニューを選択して、▶を押します。

2

開始の確認画面が表示されます。

- 開始を選択して▶を押すと再生が開始されます。

3

シャッターボタンを押します。

- トリミングの開始位置が決まり、これ以前のフレームはカットされます。

4

再度、シャッターボタンを押します。

- トリミングの終了位置が決まり、これ以降のフレームはカットされます。
  続いて、トリミングの実行確認画面が表示されます。

動画トリミングでの画面の確認

動画のトリミングは、マルチセレクターの▼でフレームを一時停止させ、◀または▶でフレームを戻したり、送ったりして確認しながら行うことができます。

5

「確認」を選択します。

- 操作をやり直す場合や、動画トリミングをキャンセルする場合は「いいえ」を選択して▶を押します。
- 「はい」を選択すると、確認の動画再生が行われないままデータが変更されますのでご注意ください。

6

▶を押します。

- 動画トリミング後に残る部分（1 回目と 2 回目のシャッターボタン操作の間に再生された部分）が再生されます。

7

再び確認画面が表示されたら、「はい」を選択します。

- 操作をやり直す場合や、動画トリミングをキャンセルする場合は「いいえ」を選択して▶を押します。
- もう一度画像を再生して確認したい場合は「確認」を選択して▶を押します。

8

カード記録中
しばらくお待ち下さい

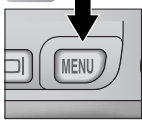
▶を押します。

- 不要な部分が削除され、編集後の動画に置き換えられて保存されます。

動画トリミングについてのご注意

- 動画トリミングでは、元の動画が編集後の動画に置き換えられて保存されます。元の動画に戻すことはできませんので、上記手順 5 と 6 の再生画面をよくご確認ください。
- 動画トリミングでは、5 フレーム以下で動画をトリミングすることはできません。

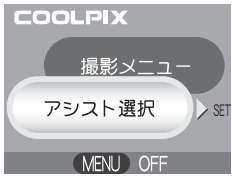
撮影メニューについて

撮影メニュー一覧

撮影メニューでは以下の項目が設定できます。

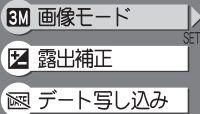
メニュー項目	内容	撮影モード	👁
画像モード	画像サイズ、画質を選択します。		68
ホワイトバランス	照明に合わせてホワイトバランスを調整します。	M📷 **のみ**	70
露出補正	明るい被写体、暗い被写体、コントラストの強い被写体などに対して露出を補正します。		72
デート写し込み	撮影時の日付と時刻を画像上に写し込みます。		73
連写	撮影方法を単写（1 コマ撮影）、連写、マルチ連写の中から選択します。	M📷 **のみ**	74
BSS	BSS（ベストショットセレクタ：手ぶれの影響がもっとも少ない画像を選択して記録する機能）を設定します。	M📷 **のみ**	75
輪郭強調	撮影した画像の輪郭を強調する度合いを設定します。	M📷 **のみ**	76
カードの初期化	CF カードを初期化します。		77

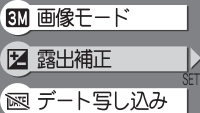
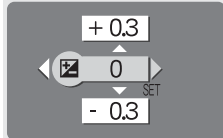
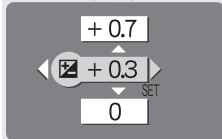
撮影メニューの表示方法

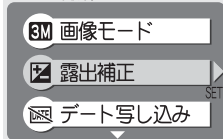
- 📷（オート撮影）モード、M📷（マニュアル撮影）モードでは、**MENU** ボタンを押すと撮影メニューが表示されます。
- 🎥（動画）モードでは撮影メニューは表示されず、動画メニューが表示されます。
- 、、、、SCENE（シーン）の各モードでは、次のように撮影メニューを表示してください。

1

MENU ボタンを押すと、アシスト機能（シーンモード）選択画面が表示されます。

2

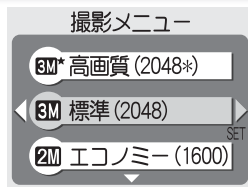
マルチセレクターの◀を押すと、メニューの選択画面が表示されます。

▲で撮影メニューを選び、▶を押すと、撮影メニューが表示されます。

撮影メニュー画面の操作方法

マルチセレクターの▲または▼で、セットしたいメニュー項目を選択します。

▶を押すと、選択したメニュー項目の詳細設定の画面に切り換わります。

▲または▼でセットしたい項目を選択します。

- 1 つ前の画面に戻るには、◀を押します。

▶を押すと、選択したメニューが設定され、撮影メニューが表示されます。

- メニュー画面を終了するには **MENU** ボタンを押します。

画像モード

デジタルカメラで撮影される画像は画像ファイルとして記録されます。画像ファイルの大きさは撮影時のサイズと画質によって決定されます。このカメラではサイズと画質をあらかじめ組み合わせ、画像モードとして次の5種類から選択できます。目的にあった画像モードを選択するとCFカードを有効に利用できます。

画像モードの種類

画像モード	サイズ(ピクセル) 画質(圧縮率)	内容	プリント時のサイズ※
3M★ **高画質(2048*)**	2048 × 1536 FINE (約 1/4)	画像を拡大する場合や、細かい模様をプリンタで表現したい場合に適しています。	約 17 × 13 cm
3M **標準(2048)**	2048 × 1536 NORMAL (約 1/8)	この使用説明書の大きさからA4 サイズ程度までの大きさで画像をプリントする場合に適しています。	約 17 × 13 cm
2M **エコノミー(1600)**	1600 × 1200 NORMAL (約 1/8)	ハガキサイズの大きさで画像をプリントする場合に適しています。	約 13 × 10 cm
PC **パソコン(1024)**	1024 × 768 NORMAL (約 1/8)	名刺サイズでプリントする場合や、パソコンのモニタに表示する場合に適しています。	約 9 × 7 cm
TV **TV(640)**	640 × 480 NORMAL (約 1/8)	電子メールやホームページに利用する場合や、テレビ画面に表示する場合に適しています。	約 5 × 4 cm

※ 画像解像度を 300dpi に設定した場合のサイズです。ピクセル数÷プリンタ解像度(dpi)× 2.54cm で計算しています。

画像モードと撮影可能コマ数について

CF カードに記録できるコマ数は画像モードによって異なります。16MB、32MB の CF カードに記録できる画像のコマ数の目安はつぎのとおりです。

画像モード	CF カード	
	16MB	32 MB
高画質（2048＊）	約 10 コマ	約 20 コマ
標準（2048）	約 19 コマ	約 39 コマ
エコノミー（1600）	約 31 コマ	約 62 コマ
パソコン（1024）	約 69 コマ	約 138 コマ
TV（640）	約 147 コマ	約 287 コマ

※ JPEG 圧縮の性質上、撮影コマ数は画像の絵柄によって大きく異なります。

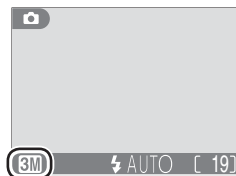
画像サイズについて

画像サイズが小さくなると、画像ファイルも小さくなり、電子メールで送る場合やホームページで使用する場合に適しています。ただし、小さいサイズで大きくプリントしようとすると、粒子が粗い画像になります。また、同じ画像サイズでも、プリント時の解像度が高いほどプリントのサイズは小さくなります。

画質と圧縮について

画像を記録する際に、処理を施して画像ファイルの容量を小さくすることを圧縮といいます。画像の圧縮率を高くすると、画像ファイルが小さくなり、CF カード内の空き容量が増えますが、圧縮してファイルを小さくすると、画質が低下し、細かい部分の再現性は低下します。

画像モード表示について

設定した画像モードは、右図のように液晶モニタに表示されます。

ホワイトバランス（M📷のみ）

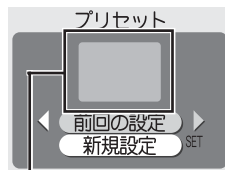
ホワイトバランスについて

人間の目は、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。それに対してデジタルカメラでは、照明光の色に合わせて白色の調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランス」を合わせるといいます。

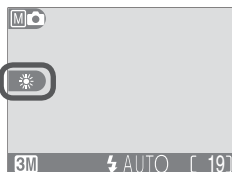
- オート（**A**）で意図どおりのホワイトバランスにならない場合や、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合にはオート（**A**）以外のホワイトバランスにセットしてください。

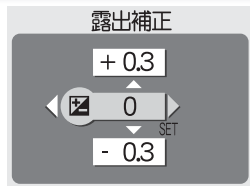
設定	内容
A オート	照明の状態に合わせて、カメラがホワイトバランスを自動的に調整します。ほとんどの場面で使用できます。
PRE プリセット	撮影者が白の被写体を基準にホワイトバランスを調整することができます（71）。
太陽光	太陽光での撮影に適しています。
電球	白熱電球を灯している室内での撮影に適しています。
蛍光灯	蛍光灯を灯している室内での撮影に適しています。
曇天	曇り空の下での撮影に適しています。
スピードライト	スピードライトを発光させて撮影する場合に適しています。

プリセットホワイトバランスについて

プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下でホワイトバランスを調整する場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など）。「ホワイトバランス」メニューから PRE（プリセット）を選択すると、レンズが望遠側にズーミングして、液晶モニタに右のようなプリセットホワイトバランス設定画面が表示されます。

設定	内容
前回の設定	前回プリセットされたホワイトバランスに設定します。
新規設定	新規にホワイトバランス値を測定するときに設定します。撮影に使用する照明下で、紙などの白い被写体をホワイトバランス測定窓に映して「新規設定」を選択し、マルチセレクターの▶を押すと、新規にプリセットホワイトバランス値を測定します。プリセット中にはシャッター音がして、ズームレンズが作動しますが、画像は記録されません。

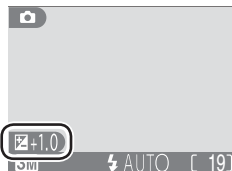
ホワイトバランス表示

ホワイトバランスをオート（**A**）以外に設定すると、設定したホワイトバランス表示が液晶モニタに表示されます。

露出補正

カメラが決めた適正露出値を意図的に変えることを露出補正といいます。露出補正ができる範囲は、− 2.0EV から＋ 2.0EV までです。

露出補正値の選択

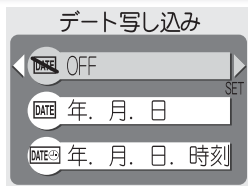
- 構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）、背景が被写体よりも明るすぎる場合は、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。
  被写体が暗すぎるときは補正値を＋側にセットしてください。
- 構図の大部分が非常に暗い場合（濃い緑の森を撮影する場合など）、背景が被写体よりも暗すぎる場合は、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。
  被写体が明るすぎるときは補正値を－側にセットしてください。

露出補正値表示

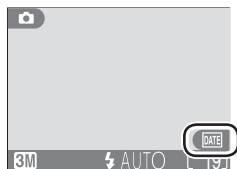
露出補正を 0 以外にセットすると、露出補正値が液晶モニタに表示されます。

デート写し込み

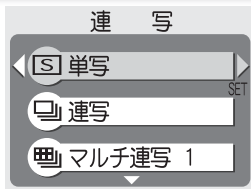
撮影時に日付と時刻を画像上に写し込みます。

デート写し込みを設定すると、日付は画像に直接写し込まれますので、DPOF に対応していないプリンタでも日付入りの画像をプリントできます。

日付は撮影と同時に画像の右下に写し込まれます。撮影後に写し込むことはできませんのでご注意ください。

設定	内容
OFF	日付、時刻のどちらも写し込みません。
DATE **年 . 月 . 日**	画像上に日付のみを写し込みます。
DATE **年 . 月 . 日 . 時刻**	画像上に日付と時刻の両方を写し込みます

日付・時刻の写し込みについて

- セットアップメニューの「日時設定」(24) で日付をセットしていない場合、「デート写し込み」は「OFF」以外選択できません。
- 一度写し込まれた日付は画像から消すことはできません。
- 画像モードが TV の場合、写し込まれた日付データが読みづらい場合があります。画像モードを PC 以上に設定してください。
- 年、月、日の表示順序は、セットアップメニューの「日時設定」で選択した表示順序と同じになります。
- 再生メニュー「プリント指定」の設定にかかわらず、写し込まれた日付や時刻はプリントされます。DPOF の日付機能に対応していないプリンタでもプリントされます。
- 「プリント指定」による日付設定との違いについては、60 ページをご覧ください。

連写（Ⓜ📷 のみ）

撮影状況に合わせて、1 コマ撮影または 3 種類の連続撮影から選択します。

設定	内容
S **単写**	シャッターボタンを深く押し込むと、1コマの画像を撮影します。そのままシャッターボタンを押し続けても、連続撮影はできません。
連写	シャッターボタンを深く押し続けることにより、約 1.5 コマ / 秒で連続撮影できます（画像モードが 3M 標準（2048）の場合、連続で約 5 コマ撮影できます）。
マルチ連写 1	シャッターボタンを深く押し込むと、1 度に連続して 16 コマの連続撮影を行います。400 × 300 ピクセルの 16 コマの画像は 4 × 4 コマに並べられて、1 つの画像（1600 × 1200 ピクセル）として保存されます。
マルチ連写 2	シャッターボタンを深く押し込むと連続撮影が開始され、7 秒経過するか、シャッターボタンをはなすと撮影が終了します。撮影された画像の中から等間隔で合計 16 コマの画像が自動的に抜き出され、4 × 4 コマに並べられて、1 つの画像（1600 × 1200 ピクセル）として保存されます。

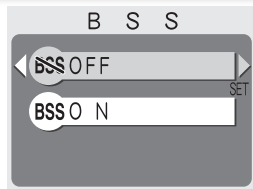
「連写」、「マルチ連写 1」または「マルチ連写 2」に設定した場合のご注意

- オートフォーカス、露出、ホワイトバランスは 1 コマ目の条件に固定されます。
- スピードライトは自動的に発光禁止になります。また、BSS は解除されます。
- 「マルチ連写 1」または「マルチ連写 2」に設定した場合は、電子ズーム（28）は作動しません。電子ズーム作動中は「マルチ連写 1」または「マルチ連写 2」に設定できません。

連写モード表示

「連写」、「マルチ連写 1」または「マルチ連写 2」に設定すると、連写モード表示が液晶モニタに表示されます。

BSS（Ⓜ📷 のみ）

BSSとは「ベストショットセレクタ」(**B**est **S**hot **S**elector) のことで、シャッターボタンを深く押し続けると、最大10コマまでの画像を連続撮影し、撮影された画像のうちカメラが自動的により鮮明な画像を1コマ選んでCFカードに記録する機能です。BSSをONにすると、次のような手ブレをしやすい撮影時に効果的です。

- 望遠側にズーミングしている場合
- マクロ撮影時
- 照明が暗いときでスピードライトを使用しない場合

設定	内容
BSS OFF	BSSをセットしません。
BSS ON	フォーカス、露出、ホワイトバランスは撮影する最初の画像で決定します。スピードライトは自動的に発光禁止になります。

BSSについてのご注意

BSSを設定しても、動いている被写体を撮影したり、連続撮影中に構図を変えると、適切な結果が得られない場合があります。

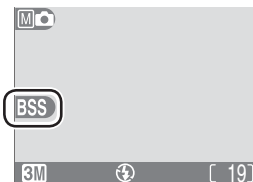
連写設定時のBSSについて

連写を「単写」以外に設定しているときにBSSをONに設定すると連写の設定は解除されます。また、BSSを「ON」に設定しているときに連写を「単写」以外に設定すると、BSSは自動的に「OFF」になります。

「セルフタイマー」設定時のBSSについて

BSSを「ON」に設定していても、セルフタイマー撮影時はBSSは機能しません。

BSS設定時の表示について

BSSがONに設定されていると、BSS表示が液晶モニタに表示されます。

輪郭強調（Ⓜ📷 のみ）

撮影シーンや好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整します。

設定		内容
A◇	**オート**	カメラが、撮影した画像から最適な輪郭を自動的に調節します（調節は画像によって異なります）。
◇	**強**	輪郭を強めに強調します。個々の被写体の境目がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合などに使用します。
◇	**標準**	標準的なレベルで輪郭強調を行います。
◯	**弱**	輪郭の強調を弱めに行います。個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。
◇	**OFF**	輪郭強調しません。

輪郭強調について

輪郭強調の効果は撮影時の液晶モニタでは確認できません。

パソコンで加工する画像には

画像をパソコンで加工する場合は、輪郭強調を「OFF」に設定することをおすすめします。

輪郭強調表示について

輪郭強調をオート以外に設定すると、輪郭強調表示が液晶モニタに表示されます。

カードの初期化

CF カードを初期化（フォーマット）する場合に使用します。

カードの初期化
カード内のデータは
全て削除されます
よろしいですか？
いいえ
初期化する
SET

マルチセレクターの▲または▼で「初期化する」を選択します。

- 初期化を行わない場合は「いいえ」を選択して▶を押してください。

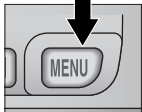
▶を押すと初期化が開始され、「カード初期化中」というメッセージが表示されます。

- 初期化が終了すると、撮影メニュー画面に戻ります。

カード初期化のご注意

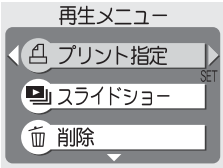
- 「**カード初期化中**」のメッセージが液晶モニタに表示されている間は、カメラの電源を OFF にしたり、電池や CF カードを取り出したりしないでください。
- CF カードを初期化すると、CF カード内のデータは全て消去されます。初期化する前に保存したい画像をパソコンに転送することをおすすめします。

再生メニューについて

再生メニュー一覧

再生メニューでは以下の項目が設定できます。

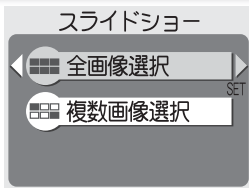
メニュー項目	内容	👁
プリント指定	DPOF 対応プリンタでプリントする画像を選択し、プリント枚数やプリント時に書き込む撮影情報・日付を設定します。	58
スライドショー	CF カードに記録されている画像を順番に自動再生します。	79
削除	全画像、または選択した画像を削除します。	82
プロテクト設定	不用意に画像を削除しないように画像にプロテクト（保護）をかけます。	84
転送マーク設定	全画像、または選択した画像をパソコンに転送する設定を行います。	85

再生メニューの表示方法

- 液晶モニタに再生画面が表示されているとき、次のように再生メニューを表示してください。

MENU ボタンを押すと、メニューの選択画面が表示されます。

「再生メニュー」を選択して、▶を押すと、再生メニューが表示されます。

スライドショー

画像を約３秒間隔で順番に再生する、スライドショーを行います。

設定	内容
全画像選択	すべての画像を撮影順に再生します。
複数画像選択	再生する画像と順番を指定する選択画面が表示されます。

すべての画像を撮影順に再生する

1

マルチセレクターの ▲または▼で「全画像選択」を選択します。

2

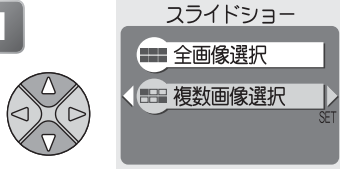
▶を押すと、スライドショー開始画面が表示されます。

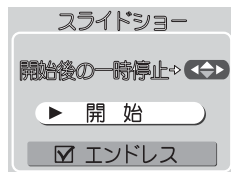
3

マルチセレクターの ▲または▼で「開始」を選択します。

4

▶を押すと、スライドショーが開始されます。

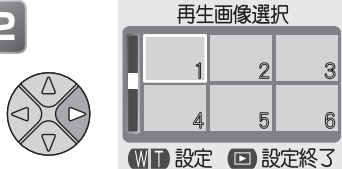
スライドショーの自動繰り返し再生

スライドショーで画像を自動的に繰り返し再生するには、スライドショー開始画面で▲または▼を押して「エンドレス」を選択し、▶を押します。「エンドレス」の前の□に ✓ が入ります。

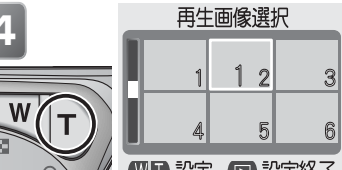
- 解除するにはもう一度▶を押して ✓ をはずします。
- 「開始」を選択して▶を押すとスライドショーを開始します。

選択した画像を指定した順番で再生する

1

マルチセレクターの ▲または▼で「複数画像選択」を選択します。

2

▶を押すと、画像選択画面に切り換わり、画像がサムネイル表示されます。

3

▲、▼、◀または ▶ を押して、スライドショーで再生したい画像を選択します。

- 再生する順序を変更しない場合はそのまま ▶ ボタンを押して、手順 6 に進んでください。
- キャンセルする場合は、**MENU** ボタンを押してください。

4

T ボタンを押して、スライドショーで再生する画像を設定します。設定された画像には選択順に番号が表示されます。

- **T** ボタンを押すと、画像が回転します。
  1 回押し：回転なし
  2 回押し：右回転（←）
  3 回押し：左回転（→）
- 設定を行った画像の順番が、スライドショーで再生される順番になります。3 と 4 の手順を繰り返して、スライドショーで再生したい画像を順番に設定してください。
- 設定を取り消すときは、すでに設定した画像上で **W** ボタンを押して、番号の表示を消してください。

5

▶ ボタンを押すと設定が完了し、スライドショー開始画面が表示されます。

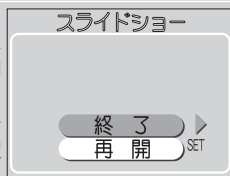
6

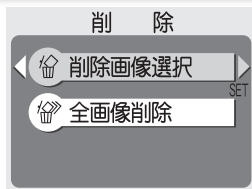
マルチセレクターの ▲または▼で「開始」を選択します。

7

▶を押すと、スライドショーが開始されます。

スライドショーの再生中は次の操作ができます。

機能	ボタン	内容
一時停止	▼	スライドショーが一時停止し、画面上にメニューが表示されます。スライドショーを再開するには「再開」を選択して▶を押します。スライドショーを終了するには「終了」を選択して▶を押します。 (スライドショー / 終 了 / 再 開 / SET)
コマ送り	▶	▶を押すとコマ送りします。押し続けると早送りします。
コマ戻し	◀	◀を押すとコマ戻しします。押し続けると巻き戻します。
終了	**MENU**	スライドショーを終了して再生画面に戻ります。

削除

画像の削除方法を以下から選択できます。

設定	内容
削除画像選択	選択した画像を削除します。
全画像削除	記録されているすべての画像を削除します。

選択画像の削除

1

マルチセレクターの ▲または▼で「削除画像選択」を選択します。

2

「削除画像選択」画面に切り換わり、画像がサムネイル表示されます。

3

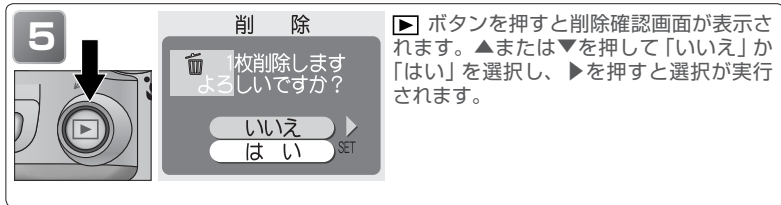
▲ 、▼、◀または ▶ を押して、画像を選択します。

4

T ボタンまたは **W** ボタンを押して、削除する画像を設定します。

- 設定した画像には 🗑 マークが表示されます。
- 3 と 4 の手順を繰り返し、削除する画像を選択します。
- 削除の設定を取り消すときは、🗑 マークが表示された画像上で **W** ボタンまたは **T** ボタンを押して 🗑 マークを消してください。

5

▶ ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。▲または▼を押して「いいえ」か「はい」を選択し、▶を押すと選択が実行されます。

全画像の削除

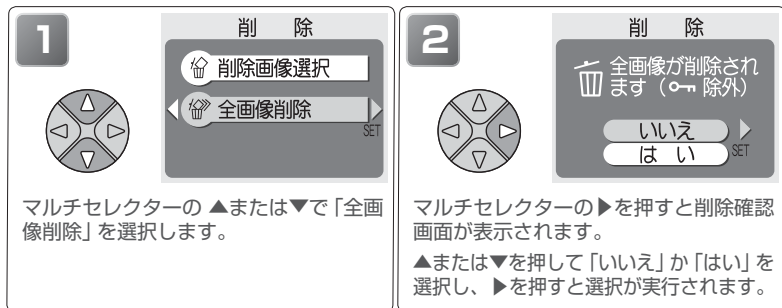
CF カードのすべての画像を削除します。ただし、プロテクト設定された画像は削除されません。

1

マルチセレクターの ▲または▼で「全画像削除」を選択します。

2

マルチセレクターの▶を押すと削除確認画面が表示されます。

▲または▼を押して「いいえ」か「はい」を選択し、▶を押すと選択が実行されます。

画像の削除について

- 削除した画像は元に戻すことはできませんのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- マークが表示されている画像はプロテクト（保護）設定されているので削除されません（84）。

プロテクト設定

CF カードに記録されている画像を誤って削除しないようにプロテクト（保護）をかける画像を選択します。

1

マルチセレクターの▲、▼、◀または▶を押して、画像を選択します。

2

T ボタンまたは **W** ボタンを押して、プロテクト設定を行います。

- プロテクト設定された画像には 🔑 マークが表示されます。
- 1 と 2 の手順を繰り返し、プロテクトをかける画像すべてを選択します。
- プロテクトを解除する場合は、🔑 マークが表示された画像上で **W** ボタンまたは **T** ボタンを押して 🔑 マークを消してください。

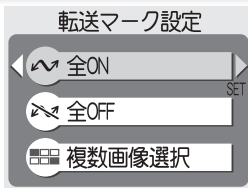
3

▶ ボタンを押すと操作完了です。画像のプロテクト状態を変更しないでプロテクト設定を終了する場合は、**MENU** ボタンを押してください。

✔ プロテクト設定についてのご注意

プロテクト設定をした画像は 1 コマ再生モード、サムネイル再生モードで削除ができなくなります。ただし、CF カードを初期化するとプロテクト設定された画像を含むすべての画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

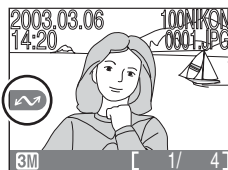
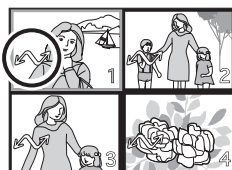
転送マーク設定

撮影した全画像をパソコンに転送するか、または全画像を転送しないようにするかを設定します。また、転送する画像を選択できます。

設定	内容
全 ON	撮影した全画像を転送設定します。設定後に撮影する画像は全て ON になります。
全 OFF	撮影した全画像の転送設定を解除します。設定後に撮影する画像は全て OFF になります。
複数画像選択	画像ごとに転送設定を設定 / 解除します。

転送マーク設定についてのご注意

- 1 枚の CF カードに転送設定できる画像は 999 コマまでです。999 コマを超える画像を転送する場合は Nikon View を使用すると、すべての画像を一括で転送できます。詳しくは Nikon View のリファレンスマニュアル (CD-ROM) をご覧ください。
- COOLPIX3100 以外のニコン製デジタルカメラで転送設定した CF カードを挿入しても転送設定は認識されません。COOLPIX3100 で再度転送設定してください。
- COOLPIX3100 以外のニコン製デジタルカメラで非表示設定された画像は COOLPIX3100 で再生できますが、転送することはできません。非表示設定された画像を転送する場合は Nikon View の を使用してください。転送方法については、Nikon View リファレンスマニュアルをご覧ください。

転送設定

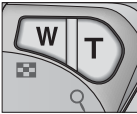
- COOLPIX3100 の初期設定では、撮影された画像すべてに (転送) マークが自動的に表示されます。

1 コマ再生モード

サムネイル再生モード

- Nikon View がインストールされたパソコンとカメラを専用 USB ケーブル UC-E6 で接続して、▶ ボタンで画像を転送すると、 マークの付いた画像がパソコンに転送されます。ただし、Mac OS X のバージョン 10.1.2 をご使用の場合は、カメラの ▶ ボタンでは画像を転送できません。画像を転送する場合は Nikon View の を使用してください。

画像ごとに転送設定を設定 / 解除するには

1

マルチセレクターの ▲または▼で「複数画像選択」を選択します。

2

「転送画像設定」に切り換わり、画像がサムネイル表示されます。

3

▲ 、▼、◀または ▶ を押して、画像を選択します。

4

T ボタンまたは **W** ボタンを押して、転送する画像を設定します。

- 転送設定された画像には マークが表示されます。
- 3 と 4 の手順を繰り返し、転送する画像すべてを設定します。
- 転送を解除する場合は **W** ボタンまたは **T** ボタンを押して マークを消してください。

5

▶ ボタンを押すと操作完了です。画像の転送設定状態を変更しないで転送設定を終了する場合は、**MENU** ボタンを押してください。

セットアップメニューについて

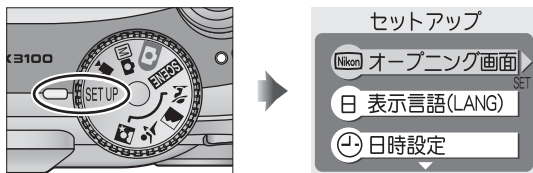
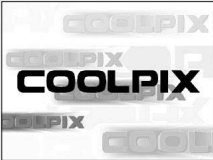
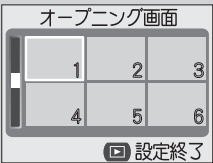
セットアップメニュー一覧

セットアップメニューでは以下の項目が設定できます。

メニュー項目	内容	👁
オープニング画面	カメラの電源を ON にしたときに、液晶モニタに表示されるオープニング画面を選択します。	88
表示言語（LANG）	カメラに表示する言語を設定します。	89
日時設定	カメラに内蔵された時計の日時を設定します。	24
画面の明るさ	液晶モニタの明るさを調整します。	89
操作音	カメラの状態を知らせる操作音の ON/OFF を設定します。	89
オートパワーオフ	バッテリー節約のため、液晶モニタが自動的に消灯するまでの時間を設定します。	90
カードの初期化	CF カードを初期化します。	77
USB	ご使用のパソコンの OS に合わせて USB 通信方式を設定します。	55
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します。	90
設定クリア	カメラにセットされた各種設定を初期設定にリセットします。	91

セットアップメニューの表示方法

- モードダイヤルを回して SETUP に合わせると、液晶モニタにセットアップメニューが表示されます。メニュー画面の操作方法については「撮影メニュー」（👁 66）をご覧ください。

セットアップメニュー項目について

- 「日時設定」のについては撮影の準備の「日付と時刻を設定します」（👁 24）をご覧ください。
- 「カードの初期化」のメニュー項目については、撮影時の撮影メニュー（👁 77）をご覧ください。
- 「USB」のメニュー項目については、「パソコンで再生する」（👁 55）をご覧ください。

オープニング画面

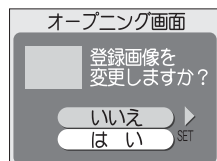
カメラの電源を ON にしたときに、液晶モニタに表示されるオープニング画面を選択します。

設定	内容
なし	カメラの電源を ON にしても、オープニング画面は液晶モニタに表示されず、そのまま撮影画面になります。
Coolpix	カメラの電源を ON にしたときに、右のようなオープニング画面が液晶モニタに表示されます。
画像の選択	オープニング画面を、CF カードに記録されている COOLPIX3100 で撮影した画像から選択することができます。右のように CF カードに記録されている画像が一覧で表示されますので、マルチセレクターで選択した後、▶ ボタンを押すと決定されます（キャンセルしてセットアップメニューに戻るには **MENU** ボタンを押します）。

「画像の選択」でスモールピクチャーまたはトリミング画像を選択する場合

- スモールピクチャーを選択する場合は、640 × 480 のみ設定可能です。
- トリミング画像を選択する場合は、640 × 480 以上の画像のみ設定可能です。

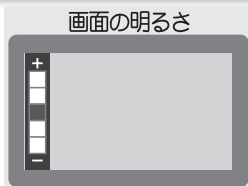
「画像の選択」でオープニング画面を選択した場合は

オープニング画面メニューの「画像の選択」で、すでに画像を登録している場合、画像を変更するかどうかを確認する画面が表示されます。変更する場合は「はい」を、変更しない場合は「いいえ」を選択してください。

表示言語（LANG）

メニューやメッセージを表示する言語を選択します。「日本語」、「Español」（スペイン語）、「Deutsch」（ドイツ語）「English」（英語）、「Français」（フランス語）のいずれかに切り換えることができます。

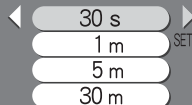
画面の明るさ

液晶モニタの明るさを5段階に調整します。画面上に表示される画像を明るさの目安にしながら、マルチセレクターの▲または▼を押して決定します。選択と同時に設定されます。メニュー画面に戻る場合は、マルチセレクターの◀または▶押してください。

操作音

カメラの状態を知らせる操作音のON/OFFを設定します。「ON」に設定すると、次のようなときに、それぞれ異なる音色で操作音が鳴ります。

- カメラの電源をONにしたとき
- シャッターをきったとき
- モードダイヤルを回したとき
- 撮影モードと再生モードを切り換えたとき
- メニューを確定したとき
- エラーが起きたとき
- 液晶モニタを点灯したとき

オートパワーオフ

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間を 30 s（30 秒：初期設定）、1 m（1 分）、5 m（5 分）、30 m（30 分）のいずれかに設定できます（☞ 23）。メニュー表示中は 3 分に固定、AC アダプタ EH-61 使用時は 30 分に固定されます。

ビデオ出力

ビデオの出力方式を選択します。テレビやビデオデッキなどの接続先の機器に合わせて選択します（☞ 54）。

設定	内容
NTSC	NTSC 方式に設定します。通常、日本国内で使われている方式です。
PAL	PAL 方式に設定します。欧州で使われている方式です。

設定クリア

カメラにセットされた各種設定を初期設定にリセットします。

設定	内容
いいえ	設定をリセットしません。
はい	各種設定を初期設定にリセットします。

以下の設定項目がリセットされます。

設定項目	初期設定
ポートレートモード	ポートレート
風景モード	風景
スポーツモード	スポーツ
夜景ポートレートモード	夜景ポートレート
SCENE（シーンモード）	パーティー
動画モード	カメラ再生用
スピードライト	AUTO*
セルフタイマー	OFF
マクロモード	OFF

* 撮影モードが [カメラ] の場合は ⚡AUTO または ⚡👁 に戻ります。

設定項目	初期設定
画像モード	標準（2048）
ホワイトバランス	オート
露出補正	± 0
デート写し込み	OFF
連写	単写
BSS	OFF
輪郭強調	オート
転送マーク設定	全 ON
オープニング画面	Coolpix
画面の明るさ	3
操作音	ON
オートパワーオフ	30 s

設定クリアを行うとファイル名の連番はクリアされ、次の撮影からは CF カード内にある一番大きいファイル番号の次の番号から連番を開始します（33）。

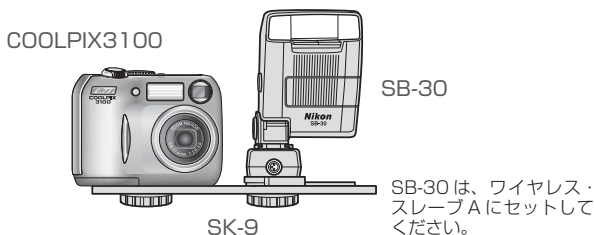
ファイル名の連番を 0001 にリセットしたいときは

ファイル名の連番を 0001 にリセットするときは、まず CF カード内の画像を全て削除する（82）か、CF カードを初期化（77）した後、設定クリアを行ってください。

別売アクセサリー

COOLPIX3100 には次の別売アクセサリーが用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

リチャージャブルバッテリー	リチャージャブルバッテリー EN-MH1
バッテリーチャージャー	バッテリーチャージャー MH-70
AC アダプタ	AC アダプタ EH-61
ソフトケース	ソフトケース CS-CP14
PC カードアダプタ	PC カードアダプタ EC-AD1
増灯スピードライト	ニコンスピードライト SB-30
ブラケット	SB30 専用ブラケット SK-9

ニコンスピードライト **SB-30** は、COOLPIX3100 内蔵スピードライトにワイヤレスで調光連動する小型スピードライトです。専用ブラケット **SK-9** を使用してセットすると、内蔵スピードライトでは光量が不足するような状況でも手軽に増灯撮影を行うことができます。詳細は、SB-30 の使用説明書をご覧ください。

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、直接手で触らないようにご注意ください。ほこりや糸くずはブロアーで払います。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布でレンズのガラスの中心から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。

液晶モニタ

ほこりや糸くずはブロアーで払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラ本体

ブロアーを使ってほこりや糸くずを払い、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。海辺などでカメラを使用した後は、真水を湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取り、よく乾かします。

※ クリーニングの際、アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

保管について

長期間カメラを使用しないときは電池を取り出してください。電池を取り出す前にカメラの電源が OFF になっていることを確認してください。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください：

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が 50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が 60% を越える部屋

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●お手入れ方法について

手入れの際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

保護ガラスや液晶画面が汚れたときは、ブロアーでゴミやホコリを吹き払い、汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。固いもので拭くと傷になりますのでご注意ください。

●保管する際には

カメラを長期間使用しないときは、電池を必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安に電池を入れカメラを操作することをおすすめします。

●電池や AC アダプタを取り外すときは必ず電源 OFF の状態で行ってください

電源 ON の状態で、電池の取り出し、AC アダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

●液晶モニタについて

液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。記録される画像には影響はありません。

- 屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
- 液晶モニタ画面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニタの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、十分ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

電池の取り扱いについて

●撮影の前に充電池をあらかじめ充電する

リチャージャブルバッテリー EN-MH1 で撮影の際は、電池の充電を行ってください。付属のリチャージャブルバッテリー EN-MH1 は、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

●電池使用上のご注意

- 電池を電源として長時間使用した後は、電池が発熱していることがありますのでご注意ください。
- 電池を取り出す場合は、カメラの電源を OFF にして、電源ランプが消灯していることを確認してから取り出してください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池は使用しないでください。
- 電池容量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチの ON/OFF を繰り返さないでください。

●予備電池を用意する

撮影の際は、予備電池をご用意ください。特に、海外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●低温時の電池について

電池は一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時に使用する場合は、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の十分な電池を使い、予備の電池を用意する

低温時に消耗した電池を使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は新しい電池か、十分に充電されたリチャージャブルバッテリーを使用し、保温した予備の電池を用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使える場合があります。

●電池の接点について

電池の接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、電池を入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●電池の残量について

電池の特性上、残量がなくなった電池を再度カメラに入れた場合、電池の残量が十分な状態を示す（バッテリー表示が何も表示されない状態）ことがありますのでご注意ください。

●ニッケル水素電池について

- ニッケル水素電池は、容量が残っている状態で繰り返し充電されると、メモリー効果が発生して早めにバッテリー残量警告が表示されることがあります。最後まで使い切って充電することで正常な状態に戻ります。
  ※メモリ効果：一時的に電池の容量が低下したような特性を示す現象
- ニッケル水素電池は、使用しないときでも自然放電により容量が低下します。ご使用になる直前に充電することをおすすめします。

●リチャージャブルバッテリーEN-MH1の充電について

EN-MH1 は、専用バッテリーチャージャー MH-70 で 2 本同時に充電してください。また、2 組以上の EN-MH1 を使用する場合、残量の異なる電池が混在しないようにしてください。

●リチャージャブルバッテリーEN-MH1のリサイクルについて

ご使用済みのリチャージャブルバッテリーは貴重な資源です。リチャージャブルバッテリーのリサイクルにご協力ください。＋端子にテープ等を貼り付けて絶縁してから、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

警告メッセージについて

液晶モニタに下記の警告メッセージが表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処方法をご確認ください。

液晶モニタの表示	原因	対処法	
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	24
電池残量がありません。	電池の残量がありません。	カメラの電源を OFF にして電池を交換してください。	18
AF● （AF 表示の赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	シャッターを半押しして被写体と同じ距離のものにピントを合わせ、そのまま構図を元にもどして撮影してください。	31
	シャッタースピードが低下して手ブレのおそれがあります。	次の方法でカメラを安定させてください。 • スピードライトを使用する • 三脚を使用する • 安定した場所におく • 体に肘を付けて、両手でしっかりとカメラを固定する	34 45 — 28
カード記録中 しばらくおまちください	• 画像の記録中にカメラの電源を OFF にしました。 • 画像の記録中に▶ボタンが押されました。	カードへの記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	31
カードが入っていません	カメラが CF カードを認識できません。	電源を OFF にして、CF カードが正しく挿入されていることを確認してください。	20
このカードは使用できません	CF カードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みの CF カードをご使用ください。 • CF カードの端子部分が汚れていないかご確認ください。CF カードが破損している場合は販売店、または本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターにご相談ください。	21 20
カードに異常があります			
モニタオフします	長時間使用したため、内部回路保護が働きました。	ファインダーを使用して撮影を行うか、カメラの電源を OFF にして、しばらく放置した後ご使用ください。	23

液晶モニタの表示	原因	対処法	👁
初期化されていません 初期化する いいえ ▷	CF カードが、COOLPIX3100 仕様に初期化されていません。	マルチセレクターの▲ボタンを押して、「初期化する」を選択し、▼を押して CF カードを初期化するか、カメラの電源を OFF にして、適切な CF カードに交換してください。	21 77
メモリー残量がありません	画像を記録する空き容量がありません。	• 画像モードを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • 新しい CF カードを挿入してください。	68 33 20
	画像を転送するための通信情報を書き込む容量がありません。(カメラとパソコンを接続し、▶ ボタンを押した場合のみ)	不要な画像を削除し、再度 ▶ ボタンを押してください。	82
画像を登録できません	• CF カードのフォーマットが異なります。 • 画像の保存中にエラーが発生しました。 • ファイル番号のオーバーフローです。 • 画像の編集(画像編集、スモールピクチャー、トリミング)で作成された画像か、動画に対して画像の編集を行おうとしました。	• CF カードを初期化してください。 • 新しい CF カードに入れ換えるか、画像ファイルを削除してください。 • 画像の編集で作成された画像や動画に対して画像の編集を行うことはできません。	77 20 33 82 50
レンズエラー	レンズ駆動中にエラーが発生しました。	カメラの電源を OFF にして、再度 ON にしてください。この現象が続く場合は、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターにご連絡ください。	22

液晶モニタの表示	原因	対処法	
撮影画像がありません	CF カードに撮影された画像が入っていません。	再生モード時：▶ ボタンを押して撮影モードに切り換え、画像を撮影してください。	30
このファイルは表示できません	パソコン、または他社のカメラで作成したファイルです。	撮影したカメラまたはパソコンで再生してください。	—
通信エラーです	パソコンに画像転送中、インターフェースケーブルの接続が外れたか、CF カードが取り出されました。	パソコンのモニタに警告メッセージが表示された場合、［OK］をクリックして Nikon View を終了してください。カメラの電源を OFF にした後、ケーブルを再接続するか、CF カードを交換して、もう一度電源を ON にして転送してください。	20 56
	ご使用のパソコンの OS とカメラの USB 通信方式の組み合わせでは、カメラの ボタンで転送できません。	カメラの電源を OFF にし、いったん USB ケーブルを外してセットアップメニューを変更し直した後、パソコンと再度接続してください。この操作で警告メッセージが消えない場合には、Nikon View の転送ボタンをご使用ください。	55 56 57
転送マークされた画像がありません	転送設定された画像がないときに ボタンでパソコンに画像を転送しようとしました。	カメラとパソコンの接続を外し、少なくとも 1 枚以上の画像に転送設定をセットして、再度転送してください。	56 57 85
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンが正しく接続されていること、および電池の残量が十分であることを確認してください。	22 56
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	カメラの電源を OFF にして、AC アダプタを使用している場合はアダプタを外して、電池を取り出します。再度電池を入れて、電源を ON にしてください。システムエラーの表示が続く場合は本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターまでご連絡ください。	18

故障かな？と思ったら

カメラが正常に作動しないときは、お買い上げの販売店や本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターにお問い合わせいただく前に、下表の項目をご確認ください。

●デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶モニタに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、電源をOFFにして電池を入れ直し、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますと電池が熱くなっていることがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。ACアダプタをご使用時は、いったんカメラから取りはずして再度カメラに取り付け、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態の時のデータは、失われるおそれがありますが、すでにコンパクトフラッシュカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターにお問い合わせください。

こんな時は	ここをご確認ください	参照ページ
液晶モニタに何も映らない	• カメラの電源が入っていません。 • 液晶モニタがオフになっています。 • 電池が正しく装着されていません。または電池室カバーがしっかりと閉まっていません。 • 電池の残量がありません。 • AC アダプタ EH-61（別売）が正しく接続されていません。 • カメラが低消費電力モードになっています。シャッターボタンを半押ししてください。 • USB ケーブルが接続されています。 • ビデオケーブルが接続されています。	22 15 18 22 — 23 — —
カメラの電源が突然切れる	• 電池の残量がありません。 • 電池の温度が低すぎます。	22 95
液晶モニタに画質モードなど、カメラの設定内容の情報や画像情報が表示されない	• 設定情報や画像情報を非表示にセットしている可能性があります。設定情報または画像情報が表示されるまで [□] ボタンを押してください。	15
液晶モニタの画面がよく見えない	• 周囲の光が明るすぎます。暗い場所に移動してください。 • 液晶モニタの明るさを調整してください。 • 液晶モニタが汚れています。	94 89 94

こんな時は	ここをご確認ください	📖
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	• カメラが再生モードになっています。 • 電池の残量がありません。 • AF ランプが点滅しています：ピントを合わせることができません（液晶モニタ消灯時）。 • スピードライトランプが点滅しています：スピードライトが充電中です。 • 液晶モニタに「初期化されていません」というメッセージが表示されます：CF カードが COOLPIX3100 用に初期化されていません。 • 液晶モニタに「カードが入っていません」というメッセージが表示されます：CF カードがカメラに入っていません。 • 液晶モニタに「メモリー残量がありません」というメッセージが表示されます：CF カードに画像を記録する空き容量がありません。	26 22 30 30 21 77 20 96 33 97
撮影した画像が暗すぎる（露出不足）	• スピードライトが発光禁止になっています。 • スピードライトが指などでさえぎられています。 • 被写体がスピードライトの光が届かない位置にあります。 • 露出補正値が低すぎます（－側）。	34 28 35 72
撮影した画像が明るすぎる（露出過度）	• 露出補正値が高すぎます（＋側）。	72
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体です。	31
画像がブレる	• 撮影中にカメラが動きました。次の方法で再度撮影してください。 － スピードライトを使用してください。 － BSS（ベストショットセレクタ）機能を使ってください。 － 三脚を使用して、カメラを安定させてください（セルフタイマーを使うと効果的です）。	 34 75 36
ノイズが発生し、画像がザラつく	• シャッタースピードが遅すぎます。速いシャッタースピードで撮影するにはスピードライトを使用してください。 ※ (夜景ポートレート）モード、SCENE（シーン）モードの (夜景)、 (トワイライト）がセットされている場合は、シャッタースピードの低速時にノイズ除去機能が自動的に作動します。撮影状況に合わせてこれらのシーンモードにセットすることをおすすめします。	34 43 46

こんな時は	ここをご確認ください	参照
スピードライトが発光しない	• スピードライトが発光禁止になっています。次の場合、スピードライトは自動的に発光禁止になりますのでご注意ください： －（風景）モード、SCENE（シーン）モードの（夕焼け）、（夜景）、（ミュージアム）、（打ち上げ花火）、（トワイライト）がセットされている場合 －モードダイヤルが（動画）モードにセットされている場合 －M モードで連写、マルチ連写 1 またはマルチ連写 2 が選択されている場合 －M モードで BSS が ON になっている場合	34 38 61 74 75
画像の色合いが不自然になる	• 適切なホワイトバランスが選択されていません。	70
画像を再生できない	• パソコンか他社製のカメラで、画像が上書きされました。または名前が変更されました。	—
画像の編集（画像編集、スモールピクチャーの作成、トリミング）ができない	• 表示画像が動画です。画像編集は静止画像に対してのみ可能です。 • 表示画像が画像の編集で作成された画像です。 • CF カードの空き容量が少ない場合、画像の編集ができない場合があります。画像の削除などを行って、空き容量を確保してから作成してください。	52 50 82
再生時に画像の拡大表示ができない	• 表示画像が動画です。 • 表示画像がスモールピクチャーです。 • 表示画像が 320 × 240 以下にトリミングされています。	49 52 53
カメラをパソコンに接続時、またはCFカードをカードリーダーやカードスロットに挿入したときに、Nikon View が自動的に起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • AC アダプタ EH-61（別売）が正しく接続されていません。または電池の残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。またはカードがカードリーダー、カードアダプタ、またはカードスロットに正しく挿入されていません。 • カメラのデバイス登録が正しく行われていません。 • セットアップメニューの「USB」を PTP に設定しています（Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE、Windows 98、Mac OS 9 の場合）。 Nikon View については Nikon View リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご参照ください。	22 — 56 — 55

付録

主な仕様

項目	仕様
形式	ニコンデジタルカメラ E3100
有効画素数	3.2 メガピクセル
撮像素子	1/2.7 型原色 CCD、総画素数 3.34 メガピクセル
画像サイズ	• 2048 × 1536［高画質（2048*）/ 標準（2048)］ • 1600 × 1200［エコノミー（1600)］ • 1024 × 768［パソコン（1024)］ • 640 × 480［TV（640)］
レンズ	3 倍ズームニッコールレンズ
焦点距離	f=5.8 ～ 17.4mm（35mm 判換算 38 ～ 115mm）
絞り	F2.8 ～ F4.9
レンズ構成	6 群 7 枚
電子ズーム	最大 4 倍（35mm 判換算で約 460mm 相当）
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離	レンズ前約 30cm ～∞（マクロモード時は約 4cm（ズームのワイドポジション）～∞）
AF エリア	中央 アシスト機能付きシーンモード選択時は 5 カ所より自動選択
ファインダー	実像式ズームファインダー、LED 表示
倍率	0.34 ～ 0.94
視野率	上下左右とも約 82%
液晶モニタ	1.5 型低温ポリシリコン TFT 液晶、110,000 画素、輝度調節機能付き（5 段階）
視野率（撮影時）	上下左右とも約 97%（対実画面）
記録形式	
記録媒体	コンパクトフラッシュカード（Type Ⅰ）
画像ファイル	Design rule for Camera File System（DCF)、Exif 2.2 準拠、Digital Print Order Format(DPOF) 準拠
ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline 準拠 動画：QuickTime
露出	
測光方式	マルチ測光（256 分割)、5 点 AF 測光ポイント対応
露出制御	プログラムオート 露出補正（－ 2 ～＋ 2EV、1/3EV ステップ）可能
露出連動範囲（ISO100 換算）	広角側：EV4 ～ EV17.5 望遠側：EV5.5 ～ EV16
シャッター	メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
シャッタースピード	4 ～ 1/3000 秒

絞り	電磁駆動による開口選択方式
制御段数	2（F2.8、F5.6［広角側］）
撮像感度	ISO50 相当、オートゲインアップ機能あり
セルフタイマー	10 秒
内蔵スピードライト	
調光範囲	約 0.4 ～約 3.0m（広角側） 約 0.4 ～約 1.7m（望遠側）
調光方式	自動調光制御
インターフェース	USB
ビデオ出力	NTSC、PAL から選択可能
入出力端子	• DC 入力 • ビデオ出力 / デジタル端子 (USB)
電源	• リチャージャブルバッテリー EN-MH1（ニッケル水素電池；付属）2 本 • リチウム電池 CR-V3（別売）1 本 • 単三形ニッケルマンガン電池 (市販) 2 本、単三形ニッケル乾電池 (市販) 2 本、または単三形リチウム電池 (市販) 2 本 • AC アダプタ EH-61（別売）
連続撮影時間	約 80 分 (EN-MH1 使用時) / 約 150 分 (CR-V3 使用時) ※測定条件は当社条件 (撮影毎にズーム、約 3 割のスピードライト撮影、画像モード「標準」) によります。
大きさ	約 87.5（W）× 65（H）× 38（D）mm
質量 (重さ)	約 150g（バッテリー、CF カード除く）
動作環境	
温度	0 ～ 40℃
温度	85%以下 (結露しないこと)

仕様中のデータは、すべて常温（20 ℃)、付属のリチャージャブルバッテリー EN-MH1 をフル充電で使用時のものです。

Design rule for Camera File system（DCF）について

COOLPIX3100 は、Design rule for Camera File system（DCF）に準拠しています。DCF は、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。

Exif※ Version 2.2 について

COOLPIX3100 は、Exif Version2.2 に対応しています。Exif Version 2.2 は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。Exif Version 2.2 対応のプリンターを使用することで、撮影時のカメラ情報を活かし、プリンターが最適なプリント出力を提供することができます。プリンターの使用説明書を読んでご使用ください。

※ Exif = Exchangeable image file format

索引

英数・マーク

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

付録

カスタマーサポートについて

■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたら下記のニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

ニコンカスタマーサポートセンター

TEL 0570 – 02 – 8000

受付時間：祝日を除く月〜金（9：30 〜 18：00）

＊このほか年末年始、夏期休暇など、都合により休業する場合があります。

- お電話は、市内通話料金でご利用いただけます。
- 全国共通電話番号「0570 – 02 – 8000」にお電話いただき、音声によるご案内にしたがってご利用の製品グループ窓口の番号を入力していただければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせていただきます。
- 携帯電話、PHS 等をご利用のお客様は、03 – 5977 – 7033 におかけください。
- FAX でのご相談は、03 – 5977 – 7499 におかけください。

■お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAX または郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■製品の修理に関するお問い合わせは

ニコンカメラ販売株式会社　サービス部

〒 140 – 8601　東京都品川区西大井 1–6–3

TEL　03 – 3773 – 2221　　受付時間：祝日を除く月〜金（9：00 〜 17：45）

＊このほか年末年始、夏期休暇など、都合により休業する場合があります。

◆当サービス部では、修理品の直接受け付けならびに受け渡しに関する業務は行っておりません。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

TEL 0570－02－8000　　FAX 03－5977－7499

【お問い合わせ承り書】太枠内のみご記入ください。

お問い合わせ年月日：　　　　年　　月　　日

お買い上げ年月日：　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　シリアル番号：

フリガナ

お名前：

連絡先ご住所：□自宅　　□会社

〒

TEL：

FAX：

ご使用のパソコンの機種名：

メモリ容量：　　　　ハードディスクの空き容量：

OS のバージョン：　　　　ご使用のインターフェースカード名：

その他接続している周辺機器名：

ご使用のアプリケーションソフト名：

ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン：

問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現：

（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください。）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

■アフターサービスのご案内

■技術的なお問い合わせのご案内

内容および操作に関する技術的なお問い合わせは、下記ニコンカスタマーサポートセンターをご利用ください。

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます。

全国共通電話番号「0570-02-8000」にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者ご質問にお答えさせて頂きます。

営業時間　9:30〜18:00（土・日曜日・祝日を除く毎日）

・このほか年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033**におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499**におかけください。

株式会社ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
SB3F05000502(10)
6MAA4710-A